

18

69

Ⓜ

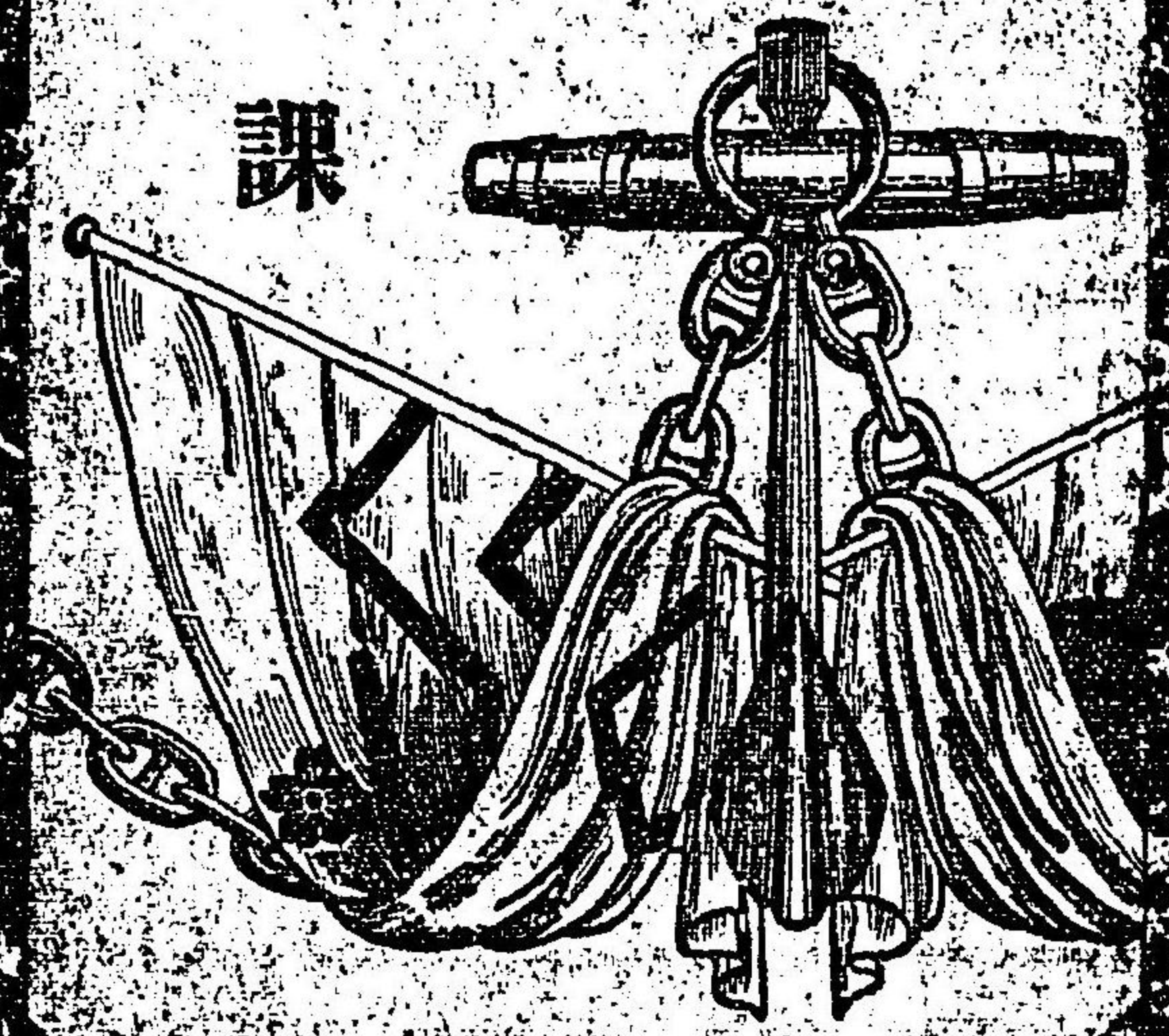
突尼斯遠征紀略

全

明治二十年二月

參謀本部海軍部

編纂課



003718-000-7

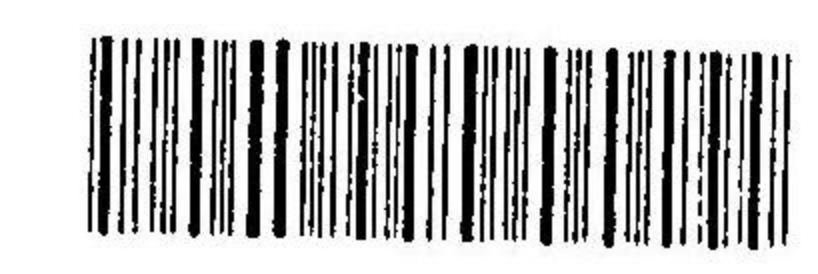
18-69

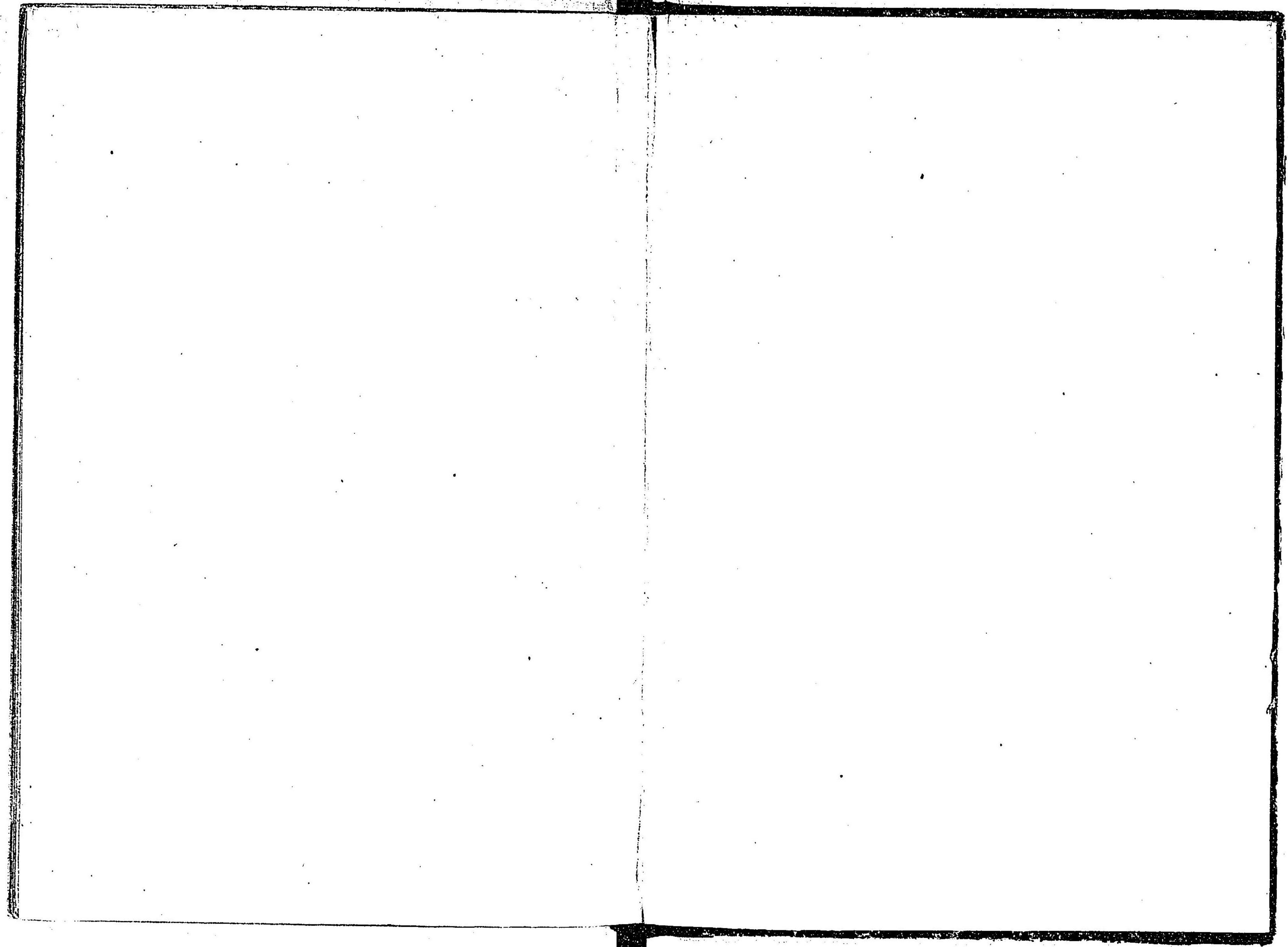
突尼斯遠征紀略

參謀本部海軍部編纂課／編

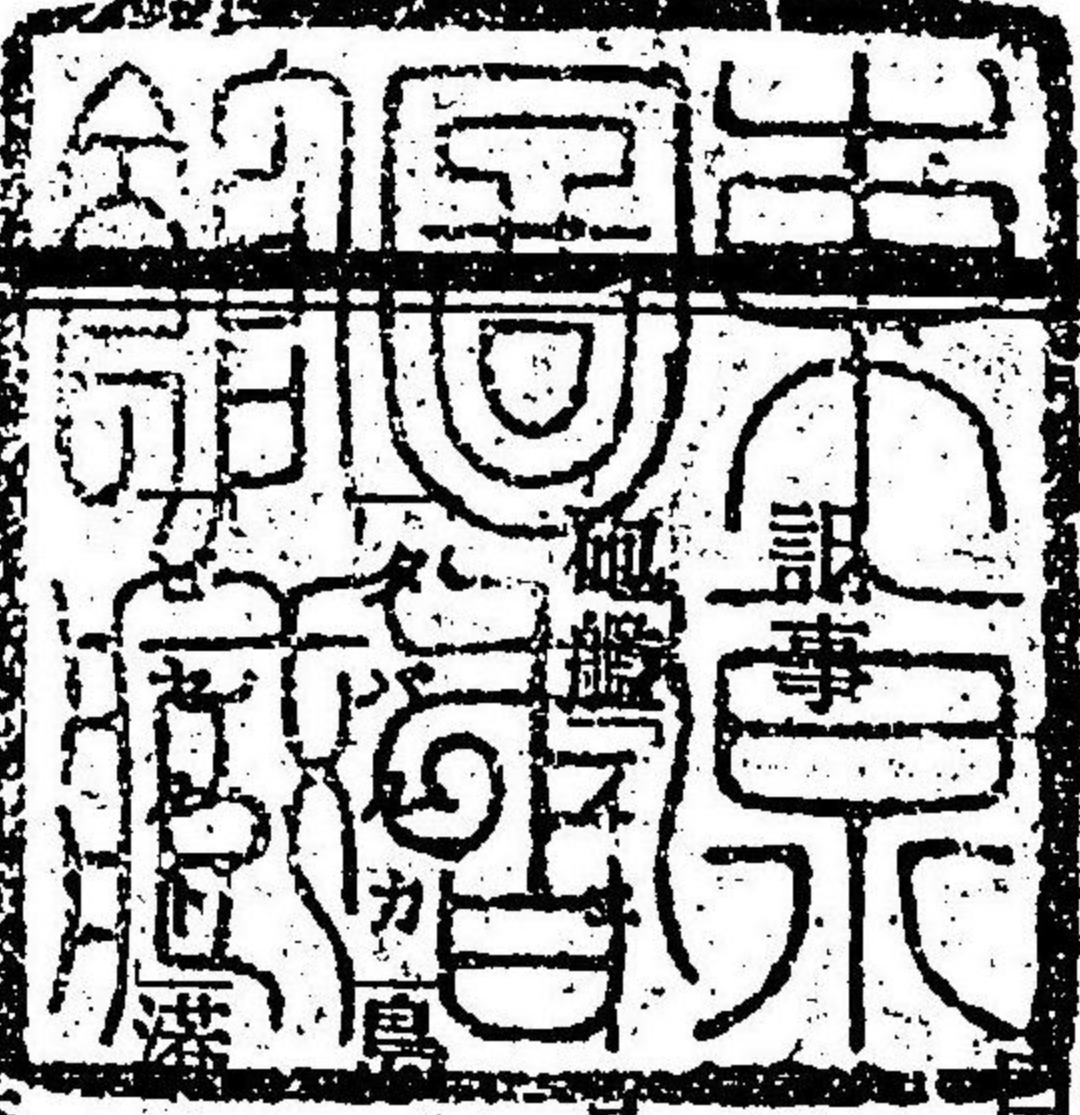
M20

ACD-0371





18-69 No. 13806



突尼斯遠征紀畧

目錄

一	號「タバルカ」島海岸偵察ノ事	一葉
二	上陸ノ事	十二葉
三	上陸ノ事並ニ報告	十七葉
四	港攻撃ノ事	二十六葉
五	「スハックス」港攻撃及略取ノ事	二十九葉
六	「ルバン」海軍分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏ノ報告	三十四葉
七	陸上指揮艦長「マルク」ド「ガ」ン「ロ」ル「ル」氏ノ報告	四十三葉
八		四十九葉



海軍省

浮橋主管艦長「デヨツヂ」氏ノ報告

六十八葉

軍裝端船指揮艦長「トリヨ」氏ノ報告

七十葉

「ケーブス」港占領ノ事

七十七葉

海軍旅團指揮艦長「マルク、ド、サン、ヒレール」氏ノ

報告

八十二葉

「セルバ」島占領ノ事並ニ報告

九十四葉

「スース」占領ノ事

九十六葉

略圖

末葉

### 突尼斯遠征紀略

#### 記事

我カ突尼斯遠征ノ事業ハ單ニ海軍ヲ以テ陸軍ヲ援助スルノ一點ニ在  
リ抑此遠征事件タルヤ外交上ノ一問題ト爲リテ啻ニ國會議院ノミ  
ナラス尙ホ多數ノ新聞ニ於テモ種々辯論ヲ極ムル所ナリキ然レモ今  
之ヲ詳論スルモ亦重複ニ渉ルヲ以テ敢テ爰ニ之ヲ贅セズ  
一千八百八十年九月二十三日佛國內閣ハ（外務大臣「バルテルミー」、サ  
ン、ヒレール」氏カ其翌年六月二十日ノ廻章ヲ以テ外國駐紮佛國全權  
公使ニ記通シタルカ如ク）突尼斯問題ニ就キ行政上太ニ紛亂ヲ生シ  
而シ又突尼斯ニ於テハ其政府ノ權勢ヲ妨害スルノ事變日ニ陸續起リ  
テ益其位地ヲシテ擾亂ヲラシメ或ハ又我カ「アルジリヤ」領地ノ危殆

ニ陷ラシクテ發見スルニ至レリ  
是ヨリ先キ佛國ハ二大困難ヲ抱ケリ其一ハ以前ヨリ永存セル者ニシ  
テ其一ハ近時ノ最大重要ノ事ニ係ル即チ我カ境界ニハ數年間擾亂常  
ニ絶ニスシテ突尼斯境界ニ居住スル所ノ我カ民族ハ瞬時モ寢食ヲ安  
スルコト能ハヌ突尼斯ノ土兵或ハ不化ノ種族等ハ常ニ我カ境内ヲ侵略  
シ叢林ヲ燒拂ヒテ戰時禁賣品ヲ密賣シ犯罪者有ルヲ知テハ之ヲ隱匿  
シ船舶ヲ掠奪シテ種々ノ強盜ヲ働ラキ或ハ人ヲ殺傷シ殘虐暴戾至ラ  
サル所無ク以上ハ我カ佛民ヲシテ愈々忍フ可ラサルノ感覺ヲ生セシ  
メタリ過キシ十箇年間ニ於テ我カ蒙リタル凌辱ハ獨リ公然世ニ布告  
セシ所ノミヲ以テアスルモ二千三百七十九件ノ多キニ昇リテ大約年ニ  
二百五十件ナリ而シテ「ペー」政府ハ此頑陋ノ徒ヲ制御スルノ權力無

ク如何ニ其暴行ヲ極ムルモ地方官ノ之ヲ不問無罪ニ附シ置キシヨリ  
愈々地方官ノ緩慢ナルヲ利トシ益凶惡ヲ逞シクスルニ至レリ是ヲ以  
テ我カ名譽上ニ蒙リレ些少ノ損害ノ如キハ枚擧スルニ暇有ラス假令  
ヒ之カ要償ヲ得ント欲スモ其得失到底償フコト能ハサルヲ知ルナリ  
我カ同胞ノ佛民ニ關スル他ノ困難ハ前件ト全ク其性質ヲ異ニスル者  
ニシテ特ニ外務大臣「バルタルミ」・サン・ヒレール「氏」ノ記スル所ニ據  
レハ「アルジリア」掠奪以後幾ト五十年我カ佛國ノ突尼斯ニ對スルヤ  
時ニ細少ノ不和ヲ生セシニモ拘ハラズ常ニ勉メテ良好ノ平和ヲ保テ  
リ然ルニ一千八百八十年ニ至リ我カ關係上ニ非常ノ變換ヲ生ゼリ蓋  
シ「ペー」政府ハ頗ル輕卒ナル黨派ノ掌中ニ在リテ我カ計營スル所苟  
モ彼レ不利ナレハ之ヲ退ケ我カ最も確實ナル權利ヲ拒絶シ又我ト締

約シタル諸般ノ定規ヲ破棄シ其争ヒヤ彼ニ條理無キモ我ニ費用ヲ出サシムルヲ利トシ我ニ確然タル實證有ル時スラ尙ホ且ツ其黨ノ無法ナル口實ヲ容レテ我カ要求ヲ廢棄シ凡ソ佛民トツヘ言ヘハ細末ノ過失ニ在リテモ其性命ヲ絶テ其財産ヲ奪ヒ凡ソ百ノ殘虐暴戾至ラサル所無ク之ヲ約言センカ即チ我カ佛民ヲ壓倒シ我カ亞弗利加殖民地ノ保護ヲシテ危カラシメ引ヒテ突尼期在留佛民ノ信用ヲ薄クスルカ如キ政略ヲ用ヒタルハ甚タ明白ナル事實ナル可シ

其政略タルヤ斯ノ如シ永續ス可ラサルハ素ヨリ論ヲ待タサルナリ苟モ我ニ名譽ト利益トヲ重スル有ラハ豈ニ手ヲ袖ニシテ傍觀スヘケンヤ但一高官ノ深ク付度スル所ニ因リテ我カ佛國ハ此等ノ事件ニ對シテ忍フ可ラサルオモ亦忍ヒ敢テ暴ヲ以テ暴ニ更ヘ徒ニ彼ニ勢力ヲ添

ユルカ如キ所爲ヲ爲サス「クルーミア」人不意ノ攻撃ハ遂ニ佛國ヲシテ征討ヲ斷定セシムルノ端緒ヲ與ヘタルモ此時尙ホ耐忍猶豫スル所無キニ非ラサリシカ彼レ我カ兵ヲ兇殺セシ事件ニ至リテハ最早我カ佛國ハ復讐ノ義務ヲ斷行スルノ外ナカリキ

我カ遠征ノ結果ハ世ノ普ク識ル所ニシテ謹慎老練ナル士官ノ指揮ニ依リ多數ノ人命ヲ損セス全ク此外寇ヲ平夷セリ我軍隊ノ勉勵ナル吾人尙ホ感賞スルニ餘リ有リ

抑佛國カ突尼斯事件ニ關涉シタルハ今日ニ始ルニ非ス既ニ一千八百六十四年四月「ケフ」地方ニ於テ亂民蜂起シテ一日内ニ突尼斯府ニ進入シ其内部及ヒ東洋濱ヲ攻撃シケレハ歐洲人ハ皆其虐殺ニ逢シコト恐レ次テ佛國軍艦ヲ突尼斯ニ發遣シ其後二十四時間ヲ經テ土耳其

國全權大使「フリゲート」艦二艘ヲ率テ來リ五月二十八日我方地中海艦隊モ亦來リテ突尼斯ノ前面ニ碇泊セシカ「アドミラルブウエーヴ井ヨレー」氏ハ土耳其國全權大使ニ通知シテ曰ク何レノ場所ニ抱ハラズ貴國軍艦水兵ノ突尼斯海岸ニ上陸ヲ企ツル者有ルニ於テハ我レ直ニ汝ノ軍艦ヲ轟沈スヘシト之ニ依リテ土耳其兵敢テ上陸セズ同年十一月二十日ニ至リ土耳其國大使「ヘイダルフヘンシー」二艘ノ「フリゲート」艦ヲ率テ「ゴレダ」港ヲ發シテ空シク土耳其海ニ歸レリ其後「オトマンボート」再ヒ突尼斯ノ主權ヲ奪ハシテ企テタレモコレ又佛國ノ敗ル所ト爲リテ遂ニ其志ヲ果ス可能ハサリキ突尼斯遠征ノ作戰ニ依リテ之ヲ觀レハ蓋シ海陸軍聯合ノ緊要ナルヲ證明スルニ足ルヘシ然レモ吾人カ海軍年報ニ說明セシ如ク一千八

百七十年ノ戰爭（普佛）前ニ於テ當時世ノ論者ハ動モスレハ佛國ノ武勇ヲ揚言シテ曰ク我が國民ノ驍勇ナル素ヨリ一國ノ防禦ヲ爲スニ足ラストセス何ソ常備軍ヲ置クヲ要セシヤト是ニ於テ輿論自然ニ常備軍ヲ廢棄セントスルノ傾向アリ此論者ノ如キハ今ノ所謂夫ノ水雷ノ利ヅルヲ特ニテ以テ全國海岸ノ防禦ヲ爲スニ足ルヘシト妄信スルノ危険ヲ踏ム者ト其轍ヲ同フスル者ノ如シ抑佛國カ海陸ノ兩軍ヲ有スルハ其名譽ト利益トヲ保護センカ爲メナリ又眼ヲ轉シテ熟方今歐洲ノ形勢ヲ察スルニ列國擧テ其志望ヲ海上事業ノ一點ニ歸セリ此時ニ方リテ我カ國苟モ海軍ヲ抑壓シ或ハ之ヲ減少スルニ於テハ是レ尙ホ兩手ノ其一ヲ失フカ如シ政略上若シ兵力ヲ以テ其結局ノ談判ヲ爲サ、ルヲ得サルコアラハ假令ヒ驍勇ノ

陸軍ヲ有ストモ其大兵ヲ積載スルノ術無ク終ニ佛國ヲシテ強國ノ名  
有リテ其實無キニ至ラシムヘシ  
世ニ水雷ノ一度ヒ現出シテヨリ一時新聞紙及ヒ國會議院ニ於テモ專  
ラ其利ヲ稱揚シテ止マス多額ノ費用ヲ要スルカ如キ軍艦ハ寧ロ之ヲ  
廢棄ス可ク或ハ全ク之ヲ廢棄セストモ宜ク之ヲ減少ス可シト反復論  
辨ヲ極ムト雖モ是徒ニ坐上ノ空論ノミ既ニ智利、秘露兩國ノ戰爭ニ  
於テ海軍ハ著キ伎倆ヲ表明シ今又突尼斯遠征ニ方リ我カ海軍ハ特ニ  
著明ナル伎倆ヲ顯シタルニ非スヤ蓋シ此遠征ト智利國ノ戰爭トハ其  
事實頗ル相類似セル者ニシテ專ラ海軍ニ賴リテ特別ノ利益ヲ占メシ  
モ亦海陸軍聯合ノ舉ニ就キテ得タル所ノ利益ハ尙ホ甚タ大ナリトス  
抑突尼斯遠征ノ時ニ方リ海軍ノ特別發遣ヲ要シタルハ先ツ一着ニ

遠征軍ノ兵隊及ヒ輜重ヲ運搬スルコト其糧食供給ヲ保險スルコトニ  
在リテ其動作勉メテ神速ヲ要セシカ故ニ政府ハ專ラ便利ヲ主トシ直  
ニ大西洋汽船會社ノ蒸氣船ヲ徵召スルコトニ議決セシカ該社ハ命ヲ受  
テヨリ僅々四時間内ニ全ク其準備ヲ了シ其郵便營業即チ定期航海  
線上ニ於テハ毫モ妨害ヲ受ケス「ボン」港及ヒ「ラ、カール」港ヘノ運搬  
ニ從事セリ又土倫港ニ於テハ運送ニ供スヘキ大船數隻ヲ準備シ五日  
間ヲ出スシテ其船体及ヒ機關ノ試験ヲ終リ次キテ又演習艦隊ヲ以テ  
時變ニ豫備セリ  
右兵隊輜重ノ運搬及ヒ糧食供給ノ事務ノ外遠征軍ヲシテ突尼斯海岸  
ニ上陸セシムルコトニ於テハ我カ海軍ハ主トシテ自己ノ材料ヲ以テ其  
上陸ニ應用シ之ヲ保護シタルニ依リ直接ニ其作戰ニ關係シテ其衝ニ



當レリ此兵隊上陸ノ戰略タルヤ海軍々事中ノ最モ困難ナル者ナリキ  
蓋シ突尼斯遠征ノ時ニ方リ吾人カ最モ注意セシハ即チ先ツ兵隊ヲ上  
陸セシムヘキ海岸ノ形狀ヲ探知シ且ツ之ヲ上陸セシムルニ必要ナル  
平底船、端船及ヒ浮橋等ヲ準備スル等ニ在リテ其他別ニ爲ス可キノ  
事無キヲ以テ我カ水兵勞動上ノ幸福モ亦之ヨリ大ナルハ無シ曾テ  
「ゼルバ」遠征ノ時頗ル危難ヲ生シ駄馬及ヒ軍馬ヲ上陸セシムルニ方  
リ終日之ヲ平底船内ニ留置セサルヲ得サルノ場合ニ至リ海水時々馬  
腹ヲ浸セシ事ハ尙ホ吾人ノ腦裏ニ記憶スル所ナリ故ニ此遠征ニ於テ  
ハ豫メ斯、ル危難ヲ避ケンカ爲メニ經驗上「ボローヌ」ペンチス」ノ適  
當ナルヲ以テ之ヲ用ヒタリ此端船ハ風波ノ爲メニ覆没セラル、カ如  
キ平底船ト異ナリテ如何ナル海邊ニ浮フルモ如何ナル怒濤ヲ侵シテ

行進スルモ波浪ノ仰揚ニ任セテ更ニ沈没ノ患ヒ無シ  
右諸般ノ事件中此遠征軍ヲ管理スル爲メニ臨時「スハツクス」スース」  
「タバルカ」ゴレット」及ヒ「ビセルト」諸港ノ港内規則ヲ設ケサルヲ得  
サルニ至レリ  
突尼斯地方ニ於ケル陸軍作戰ノ詳細ハ吾人茲ニ之ヲ誌サス然レモ讀  
者戰場一般ノ景狀ヲ視ント欲セハ即チ遠征軍ハ五旅團ヲ以テ之ヲ編  
制シ陸軍中將「フオルジモール」氏之カ都督タリ其五旅團ノ二ハ「コン  
スタンチン」州ヨリ進行シ敵國ノ南「マサルダー」ノ山谷ニ據リテ戰ヒ  
豫備旅團ト稱スル他ノ三旅團ハ佛國ヨリ直ニ發遣シテ豫テ上陸點ト  
定メタル「タバルカ」島ヲ固メ之ヲ根據點トシテ突尼斯海岸ヲ掠取シ  
以テ遠征軍ノ左翼ニ充ツルノ目的ナリ

砲艦「イエーヌ」號「ダバルカ」島海岸偵察ノ事

一千八百八十一年四月十五日

一千八百八十一年四月十五日突尼斯遠征軍都督陸軍中將「フォルジ  
モール」氏「シユルヴェヤント」號艦長ニ命シ砲艦「イエーヌ」號ヲシテ「ダ  
バルカ」島海岸ヲ偵察セシム其訓令ニ依レハ「イエーヌ」號艦長大尉「ク  
リユーズ」ハ專ラ偵察ヲ主トシテ萬々止ムヲ得サル場合ニ至ラサレ  
ハ我ヨリ兵端ヲ開カス勉テ「ダバルカ」島ノ住民ト交通ヲ試ミテ陸地  
土民ノ形狀並ニ突尼斯鎮臺兵ノ動靜等ヲ報知シ且ツ軍務上ニ關シテ  
該島ニ接近スルヲ及ヒ其家屋等ニ注目シ特ニ陸地海岸ニ設置セル砲  
臺其彈道ノ距離海上ヨリ砲撃シ得ヘキ方面並ニ衆兵ヲ上陸セシム可  
キ要路等ヲ視察ス可ク又艦隊ノ大砲ヲ以テ砲臺ニ命中セシメンニハ  
何度ノ仰角ニテ適應ナルカタ量リ錘測深深ハ海圖ニ記セル者ト差異

無キカ否ヤニ注意シ又敵國ノ爲メニ兵器彈藥ヲ積載セル船舶ニ遭遇  
スルヲ有リトモ佛國人民ニ屬スル船舶ノ外ハ務メテ耐忍ヲ旨トシテ  
抑留ス可カラスト云フノ事項ナリキ

「イエーヌ」號ノ艦長大尉「クリユーズ」氏ハ老練ニシテ能ク其使命ヲ全  
セリ氏ハ同日午後十時ヲ期シテ「シユルヴェヤント」號ノ碇泊セル錨  
地ヲ出發シ翌拂曉「ダバルカ」島ノ東四海里ノ處ニ航行シ該島ニ近ツ  
クニ隨テ右舷燈及ヒ檣樓燈ヲ消滅シ宛モ「ニグロー」岬ヨリ入港スル  
一船舶ノ如クニ假裝シテ海岸ニ向ヒ針路ヲ轉シタリキ

「ダバルカ」島海岸ハ白砂一帯絶エテ人家無シ「クリユーズ」ハ該島ヲ一  
周シテ先ツ其東方ニ位セル所ノ錨地ニ投錨シ端船ヲ發シテ探偵ニ着  
手セシカ端船ノ海岸ニ近ツクヤ銃器ヲ携帯シタル一群ノ土人忽チ島

十四  
上及ヒ陸地方ニ顯ハレ砲臺モ亦頗ル紛擾ノ景狀ナリ而シテ島上ノ人  
員ハ突尼斯兵二名ヲ合セ凡四十人陸地方ノ人數ハ大約四百名ナリ  
キ又同時ニ端船ノ錘測ニ從事シテ漸々陸地ニ接近スルニ隨ヒ土人等  
ハ益々憤怒ノ色ヲ發シ大砲ニ裝藥シテ砲台ニ蟻集シ鯨波ヲ揚ケテ其  
士官ヲ招集セシカ「イエーヌ」號艦長ハ忽チ其危キヲ察シテ土人ヲ欺  
キ我ガ船ハ軍艦ニ非ラスシテ鯨獵船ナリト言ヒシヲ以テ幸ヒニ一時  
ハ戰鬪ヲ免カレタリシモ此時恰モ銃聲一轟一彈忽チ艦側ニ落ルヤ否  
ヤ數彈尙ホ連ナリ來レルニモ拘ハラヌ同氏ハ固ク其訓令ヲ守リテ敢  
テ輕舉セス凡四十發ノ彈丸ヲ受ケタル後急速ニ錨ヲ揚ケ全速力ヲ以  
テ退港セリ但シ彈丸ハ悉ク皆甲板ヲ超テ飛散セン故ニ一人モ負傷セ  
ン者無シ

「イエーヌ」號ハ退港ノ途次伊多里亞ノ一小船ノ將ニ該島ニ到ラント  
スルニ遭遇シ次テ「ダバルカ」岬ニ歸着ス其「ケーブルークス」ニ到達ス  
ルノ間ハ海岸ノ近處ヲ航行セシカ此間海岸ノ岡上ヨリ敵兵屢小銃  
ヲ發射シ該艦ヲ劫セシモ差シタルヲ無ク尙ホ牛馬ハ其近傍郊野ニ秣  
ヒ農夫ハ田畝ニ耕ヘシ人畜皆其堵ニ安スルノ狀況ナリシ而シテ同艦  
ハ終ニ「ラカール」港ニ投錨セリ  
扱テ艦長「クリューズ」氏カ「ダバルカ」島ノ偵察ヲ遂クルヤ先ツ角度ノ  
方法ニ依リテ該島錨地ノ位置如何ヲ測知シ鉛錘ヲ以テ海底ノ淺深ヲ  
測量シ其海圖ニ示ス者ト差異無キヲ確認セリ又其錨地ノ東西面ニ臨  
ム所ノ砲臺ニハ大砲八門有リテ四門ハ其正面ニ他ノ四門ハ各鋒頭堡  
内ニ裝置セリ此等ノ大砲ハ皆舊式前裝砲ナルカ如ク認メタレト東南

鋒頭堡内ニハ一門ノ重砲ヲ備ヘタルカ其南面稍破壊スルノミナラス  
 總テ該島ハ一体ニ荒廢ニ属シ堡砦モ亦頽落シテ更ニ軍備無シト云フ  
 今艦長「クリューズ」氏カ偵察ノ成績ヲ總括シテ之ヲ左ニ悉記セン重  
 砲ヲ備装シタル一艘ノ軍艦ヲ「タバルカ」島砲臺ノ西方ニ碇泊シテ其  
 發砲ヲ鎮壓セシメ又小軍艦ヲ以テ「タバルカ」島ト陸地トノ通路ヲ絶  
 テ以テ陸地ヨリノ援兵ヲ遮斷セシメハ我カ遠征軍ハ容易ニ上陸シテ  
 該島ヲ占領スルヲ得ヘシ然レモ此目的ヲ遂ゲンニハ必ス未明ニ於  
 テ其位置ヲ占メサル可ラス蓋シ一度口之ヲ占領スルニ於テハ容易ニ  
 其砲臺ヲ掠取シテ根據ト爲スヲ得可シト

「タバルカ」島ニ上陸ノ事 一千八百八十一年四月二十六日

「ツールヴセル」號ハ一砲臺ヲモ攻撃ス可キ充分ノ上陸隊ヲ有セサル

カ故ニ「シユルヴエヤント」號ニ於テ搭載スル所ノ兵隊、軍用品、馬匹等  
 ナ之ニ配乗セリ「シユルヴエヤント」號ハ尙ホ其艦上ニ「タバルカ」島ヲ  
 占領スル爲メニ服役ス可キ小軍隊（歩兵五百人、砲兵一隊、銃兵一隊）糧  
 食、馬匹、駄馬、軍用品等ヲ積載シ之ニ加フルニ「シヤカール」號「レオバ  
 ル」號「イエーヌ」號ノ三艦ヲ引率レ四月十七日午後第九時ヲ期シテ「ボ  
 シ」港ヲ出發シ「タバルカ」島ノ前面ニ顯レタリ

叔テ此航行ヲ終ラントスルニ際シ「イエーヌ」號機關ヲ損シタルニ  
 依リ他艦ヲ以テ之ヲ曳カサルヲ得サルニ至レリ因リテ「タバルカ」島  
 ニ我カ艦隊到着ノ期ヲ遷延シタル所ヨリ「タバルカ」島沿岸ノ人民我  
 カ艦隊ノ襲來ヲ其部内人民ニ通信スルノ不幸ヲ來セリ

四月二十二日午前三十分「シユルヴエヤント」號ハ「ボルジュヂシ」砲

臺ノ北一千三百米突ノ處ニ投錨セシカ次テ「コルレーズ」號ハ援兵トシテ二大隊ヲ以テ來着セリ然レモ戒嚴ヲ加ヘテ運動スルノ緊要ナルト海上風波ノ爲メニ上陸スルノ危難ナルトニ依リテ終ニ戰爭ノ時機ヲ遷延セサルヲ得サルニ至レリ「シユルヴエヤント」號ノ艦長ハ若シ「ダブルカ」島ノ知事其砲臺ヲ我ニ與フルヲ拒ミ或ハ抵抗セントスルノ場合ニ於テハ左ノ方略ヲ用ヒント計畫セリ

遠征軍ノ上陸點ハ「ダブルカ」河口ト干潮ノ時ハ該島及ヒ陸地ヲ連續スル砂濱トノ間ナル砲臺ノ東海濱是レナリ此場所ハ最モ能ク風波ヲ凌ク可クシテ總テ我カ端船ノ一齊ニ上陸ヲ爲スニ足レルカ故ニ一時ニ多數兵員ヲ上陸セシムルニ適セリ

上陸隊ハ其左方ニ「ダブルカ」ノ河流ヲ以テ掩ハレ「イエーヌ」號「シヤ

カール」號ノ二砲艦ニハ歩兵一小隊ヲ搭載シテ其中流ヲ扼サシメ而シテ上陸點ノ西南ニ位スル平陵ノ間砲臺ニ到ルノ隘峽ハ圓形ヲ爲シテ敵兵之ニ據ルト雖モ我カ砲隊ヲ以テ之ヲ攻撃セハ容易ニ之ヲ破除シ得可キカ故ニ先ツ一着ニ砲臺ノ東面ヲ烈シク砲撃シテ之ヲ鎮壓セハ容易ニ上陸ヲ得テ隘峽ノ敵兵ヲ拂フノ目的ヲ達スルヲ得可シ其他砲臺ノ如キハ皆極メテ完全ナラス余輩ノ視察セン所ニ於テハ我カ兵ノ恐ル可キハ唯其東南鋒頭堡ニ備裝セル施條砲ノ一門ノミ而シテ「ツールヴザル」號ハ兵隊、馬匹、軍用品、彈藥等ヲ滿載セルヲ以テ敵ニ損害ヲ受クルノ恐レ有ルカ故ニ全ク敵ノ砲撃ヲ避ク可キ位置ト其艦ノ直射ヲ以テ砲臺ヲシテ守リ得サラシム可キ位置トヲ占ム可シ

「シユルヴエヤント」號ハ可成的敵ノ砲臺ニ近接ス可シ然リト雖モ

(大約一千八百米突)一千七百米突以內ニ近寄ルルハ其仰角ヲ要スル  
ノ大ナルニ因リ我カ彈丸或ハ彼ニ達着スルヲ能ハサラン各砲艦ハ各  
大艦ノ砲撃ヲ妨ケサル所ノ位置ヲ占メ「ツールヴギル」號ト「コルレ  
ズ」號トハ各其砲撃終リタル後ナハ可成的陸地ニ近接シテ砲臺ノ遠  
見ヲ避ケタル所ニ投錨シ其兵隊ニ上陸ノ便ヲ與フル可シ

斯ノ如ク豫定シタル方略ニ基ツキ上陸ヲ企テシニ四月廿三日ニ至リ  
百般ノ事全ク整頓シ「ツールヴギル」號「シユルヴエヤント」號ノ二艦先  
ツ砲臺攻撃ノ位置ヲ占メタルヲ以テ遠征軍都督陸軍中將「フオルジ  
モール」氏ハ同月二十四日ヲ以テ遠征軍上陸ノ日ト定メシカ此日ハ  
天候甚タ惡シキヲ以テ遂ニ上陸ヲ遷延セリ同月二十五日ニ至リ波濤  
稍靜リケレハ「シユルヴエヤント」號ノ艦長ハ其將ニ好機會ヲ失ハン

トスルヲ恐レ直ニ其事ニ着手シテ同日内ニ之ヲ終ヘント欲セシモ終  
ニ之ヲ果スノ術無ク其結局ヲ見ルハ次日ニ於テセサルヲ得サリシナ  
リ是ニ於テ艦長ハ「ダバルカ」島知事ニ召喚狀ヲ發送セシニ其回答甚  
タ穩當ナラサリシヲ以テ終ニ同日午後第四時ヲ期シテ砲撃ヲ始メタ  
リ然ルニ我カ砲艦ハ激浪ノ爲メニ支ヘラレ砲撃意ノ如クナラザリシ  
カ此終ニ「ダバルカ」島ヲ落セリ砲臺守兵ハ我カ兵ニ砲臺ヲ掠取セラ  
ル、ヤ其俘虜タラシテ畏レ秘濱ニ路シテ陸地ニ逃走セリ

既ニ敵ノ砲臺ノ我カ砲撃ニ應セサルニモ拘ハラヌ「シユルヴエヤン  
ト」號ノ艦長ハ該砲臺ノ東面全ク破壊スル迄ニ其砲撃ヲ止メサリキ  
之ヲ要スルニ斯ク艦長ノ注意セシハ他ニ非ラス即チ我カ兵ノ上陸ニ  
際シ敵或ハ其心算ヲ變シテ我カ不意ヲ撃テ或ハ又我カ平底船ヲ砲撃

スルノ患ハ無ラシムルニ在リシナラン該艦ノ砲撃ハ最初二三發ノ後  
 ハ二千米突能ク其狙ヒヲ極メテ百發百中セシコトハ既ニ「レバ」號  
 艦長ノ實際目撃セシ所ナリ同時ニ之ヨリモ尙ホ遙カニ隔リタル（四  
 千米突）「ツール」號モ亦漸々其狙撃ヲ正シクシテ頗ル命中スル  
 ニ至レリ但シ我カ發射シタル彈丸ノ個數ハ甚多カラスト雖モ島上砲  
 臺ニ於テ非常ノ損害ヲ與ヘタリ既ニシテ五時三十分ニ至リ「シユル  
 ヴ」エヤント「號」ノ艦長ハ最早砲臺ノ此方面ヨリ我カ兵ヲ砲撃スルノ  
 患ヒ無キヲ認メ信號ヲ以テ其砲撃ヲ停止ス同夜「ツール」號ハ  
 電氣燈ヲ點シテ海岸ヲ照シ以テ敵ノ襲來ヲ防キ且ツ炬火ヲ焚キ群集  
 セル「クルー」ミア」人ノ兵營ニ向テ絶エス發砲セリ

四月二十六日早天「コル」レーズ「號」ツール「號」ノ二艦上陸位置ヲ

取レリ然レモ前夜ヨリ強風ノ爲メニ怒濤起リテ上陸スルコト得ザリ  
 シニ因リ「シユル」ヴェヤント「號」ノ艦長「ラ」ユンブ「氏」ハ特ニ海軍旅團  
 一隊ト歩兵ノ一隊トニ命シテ「タバルカ」島ヲ占領セシメシニ向フ所  
 更ニ抗抵スル者無ク我カ水兵突尼斯兵二人ヲ虜ニセリ但此二人ハ其  
 前夜突尼斯兵ヲ襲撃セシ所ノ「クルー」ミア」人ヲ畏レテ島内ニ殘リシ  
 者ナリト云フ

同時ニ「ラ」カリソニール「號」ハ「ル」バン「分艦隊司令官海軍少將」コンラ  
 「氏」ノ旗章ヲ翻ヘシ「タバルカ」島畔ヨリ進行シツ、信號ヲ施行シ早  
 クモ該島ニ近接シテ投錨セシカ「シユル」ヴェヤント「號」ノ艦長ハ即チ  
 其信號ニ應シテ豫テ上陸隊指揮ニ任セラレタル所ノ艦長「ガ」ラーシ  
 コ「氏」ヲ發遣シテ海濱地勢ノ上陸ニ適當ナルヤ否ヤヲ偵察セシメタ

ルニ聽テ同氏ノ復命スル所頗ル好結果ナルヲ以テ「ラガリソニール」號ノ附属小蒸氣船及ヒ其端船ノ補助ヲ得テ直ニ上陸ヲ始メタリ  
 「シユルヴェヤント」號及ヒ其他各砲艦ノ發砲ヲ以テ忽チ海濱ヲ掃除セシ爲メニ上陸神速ニ捗リ午後二時上陸隊ノ一隊先ツ着岸シ五時五十分ニ至リテ砲兵、輜重、野砲用馬糧食、豫備彈藥等ヲ總括シテ全軍安全ニ上陸シタリ此間艦隊ハ洋面處々ニ在リテ遙カニ海濱ト隔離シタレモ終始交通シテ其連絡ヲ絶タサリキ  
 上陸隊海濱ニ着スルヤ否ヤ直ニ其一隊ハ海濱及ヒ河流ニ臨ム所ノ丘陵ヲ占メ他ノ一隊ハ砲台ニ向テ進行シ三時四十五分佛旗ヲ其砲台ニ掲ケタリ左翼ニ向テ進行シタル狙撃兵ハ平地及ヒ對側ナル山腹ニル所ノ亞刺比亞兵ヲ攻撃シテ終ニ之ヲ追退ケタルカ他ノ亞刺比亞兵

又其平地ト東岸砂濱トノ背後ニ始終顯レタレモ是又我カ軍艦ノ機砲ト「イエーヌ」號「シヤカール」號二砲艦ノ發砲トヲ以テ之ヲ墜退ケタリ  
 同夜ハ頗ル平穩ニシテ軍艦ハ絶エス電氣燈ヲ點シ平地ト河流ヲ照シテ其懈怠無キヲ示スカ故ニ亞刺比亞兵ハ敢テ我カ哨兵ニ近ツクヲ得サリキ

二十七日午前四時三十分「ツールヴェギル」號「コルレーヌ」號二艦ノ水兵ハ非常ノ勞働ヲ取リテ軍用品ノ陸揚ニ從事シ「シユルヴェヤント」號ヨリハ事業部水兵ヲ發送シテ之ヲ補助セシカ十時三十分ニ至リ風波俄カニ起リテ陸揚ニ便ナラサルガ爲ニ之ヲ中止シテ端船ヲ呼ビ歸ラシメシニ波濤益高クシテ各艦大抵其端船ヲ曳揚クルヲ得ス終ニ諸端船ハ諸砲艦ノ碇泊セル「タマルカ」島ノ風下ニ據リテ碇泊セリ翌



二十八日天氣尙ホ快晴ナラス二十九日ニ至リ若干ノ端船ヲ以テ漸ク軍用品ヲ陸揚スルヲ得タリ斯ク天氣ノ不良ナルヲ以テ其不便實ニ少々ナラス日ヲ追テ陸揚ヲ遷延シ既ニ一度ハ諸端船ニ積載セシ所ノ軍用品ハ止ヲ得ス再ヒ之ヲ本船ニ移サ、ルヲ得サリキ特ニ諸砲艦ノ如キハ「カール」港トノ交通ニ於テモ又碇泊中ニ於テモ非常ナル苦難ヲ蒙レリ

四月二十日午前「シユルヴェヤント」號「ボン」港ニ到着ス該艦ハ「ビセルト」港占領ニ援助ス可キノ命ヲ受ケテ「ルバン」分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏ノ麾下ニ屬セラレタリ

「ビセルト」港ニ上陸ノ事 一千八百八十一年五月三日

「タバルカ」島ハ其防禦上ニ於テハ大ニ便利ナリト雖モ未タ以テ作戰

ノ根據ト爲スニ足ラス故ニ良好ナル一ノ港灣ヲ占領シテ遠征軍ノ糧食供給ヲ十分ニ支辨セサル可ラス是以テ遠征艦隊ハ「タバルカ」島ノ東突尼斯ノ北々西ナル「ビセルト」港ヲ占領ス可キノ命ヲ受ケタリ即チ艦隊ハ「アルマ」號「ラカリソニール」號「シユルヴェヤント」號及「ヒレ」ヌフランシユ」號ノ四鉄裝艦ヲ以テ成リ五月二日「ビセルト」港ノ前面ニ顯ハレ直ニ其海軍旅團ヲ上陸セシメタリ左ニ掲記スルハ即チ「ルバン」分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏ガ海軍大臣ニ進達シタル所ノ報告ニ係ル

余ハ「ビセルト」港占領ノ捷報ヲ閣下ニ進達ス叔テ本日午前十一時ヲ以テ其占領ニ掛リシニ「ビセルト」港知事ノ我カ召喚狀ニ應シテ歸服シタル後ハ敢テ敵兵ノ抗抵モ無ク全ク海軍旅團ノ一手ヲ以テ

十分ニ占領ノ功ヲ奏セリ然ルニ兵隊積載ノ運送船或ハ東南ノ難風ニ隔アラレシカ未タ到着セス余ハ此兵隊ノ來着スルヲ待テ目下「ビセルト」港市街ヲ占領スル所ノ我ガ水兵ニ援助セシメント欲ス我カ兵ハ極メテ便利ノ地位ヲ占メ諸砲臺ヲ占領シテ諸事ニ注目シ哨兵ヲ配置シテ不虞ノ事變ニ備ヘ「アルマ」號ノ艦長ハ海濱ヲ指揮セリ而シテ余ハ未タ外國領事ノ訪問ヲ受ケサリシカ抑、一彈ヲ放タスシテ斯ル満足ナル結果ヲ得タルハ全ク各艦ノ聯合運動ノ力ニ之レ由レリ又士官水兵ノ憤發ナルハ最モ感賞スルニ堪ヘタリ右報告中ニ記載セル運送船ハ即チ「サルト號」ドワイエド號ノ二船ニシテ土倫港ニ於テ歩兵一聯隊、輕歩兵一大隊、砲兵一大隊ヲ積載セリ此兵員凡二千ナリ

「スハックス」港砲擊ノ事 一千八百八十一年  
七月五日

「オラン」州ニ於テ土民一揆ヲ起スヤ突尼斯政府兵ヲ出シテ之ヲ制止シタルヲ以テ一時ハ鎮定ニ歸セシト雖モ抑、此征討隊ヲ引揚クルコノ大早計ナリシ所ヨリ狂妄ナル「マラボウ」人等再ヒ一揆ヲ煽動シタリシカ斯クテハ突尼斯政府大舉シテ「オラン」州ヲ攻メサルヲ得サランヤ終ニ又其兵隊ヲ發遣スルニ至レリ蓋シ此一揆ノ再興スルヤ始メ征討隊ヲ引揚クルコノ急速ニ過キシニ起因スルナラン此機ニ乘シテ土爾其國其他歐洲邦國カ隱然亞刺比亞人ヲ煽動セシニ因リ「スハックス」沿海ノ村落ハ忽チ亞刺比亞人ノ爲ニ蹂躪セラレケレハ歐洲人皆其難ヲ避ケテ佛國艦隊ニ逃ル艦隊ハ海上ヨリ「スハックス」ヲ砲擊セリ此等ノ事變ニ因リテ我カ海軍ハ「ケーブス」港及ヒ「ゼルバ」

島ヲ占領セサルヲ得サルノ時機ニ接セリ

「ラテンアス」氏カ通信スル所ニ依レハ七月五日ヨリ同九日迄「スハ」クス」方面ニ起リシ事件左ノ如シ

七月五日「レーヌ、ブランシュ」號ノ艦長「マルケサック」氏ハ「シヤカール」號ニ命シ可成の海岸ニ近ツキテ水上砲臺ヲ砲撃セシメシニ該艦ハ即チ五千米突以内ニ近接シテ發砲ヲ始メ陸地砲臺ヨリ直ニ之ニ應セシモ其彈丸初メハ遠距離ニ達セサリシカ漸々其狙ヒノ精密ナルニ從ヒテ終ニ我艦ニ達着スルニ至レリ凡一時間ノ砲撃ノ後チ「レーヌ、ブランシュ」號ハ信號ヲ以テ我カ發砲ヲ停止シタレトモ陸地砲臺ヨリハ尙ホ五個ノ彈丸ヲ發射セリ此時砲艦「ピクオ」號港内ニ進入シテ直ニ其發砲ニ掛リシカ暫ク在リテ其一彈水上砲臺ニ命中セリ此交戰中陸地

砲臺ヨリ發射シタル彈丸ハ十八回ノミ

敵兵五日六日ノ兩夜ヲ以テ其砲台ノ損所ヲ修繕セリ七月六日午前四時三十分頃ヨリ「レーヌ、ブランシュ」號「アルマ」號ノ二艦ハ漸々陸地ニ近接シ五時四十分頃ニ至リ市街ニ向テ發砲ヲ始メタリ但シ「レーヌ、ブランシュ」號ハ尖高塔ノ右方ニ其位置ヲ占メテ徐ロニ砲撃シ「ピクオ」號「シヤカール」號ノ二艦ハ先ツ其水兵ニ午餐ヲ與ヘタル後チ海岸ヲ距ルコト二千四百米突水深凡三米突半ノ處ニ於テ其位置ヲ占メ零時十五分ニ至ルニ及テ市街及ヒ諸砲臺ニ向テ總艦ノ砲撃ヲ始メタルカ此交戰中ニ陸地砲臺ヨリ發射シタルハ拾二彈ノミニシテ特ニ「シヤカール」號ニ向テ多クノ彈丸ヲ發射センカ忽チ同號ニ逆撃サレタリ午後二時指揮官發砲止メテ命ス全四時十五分「イエーヌ」號ハ「シヤ

カール號ニ接シテ投錨ス

同夜八時三十分「レーヌ、ブランシュ」號ハ再ヒ市街ヲ砲撃セシニ其後一時間許リヲ經テ「ピクオ」號ハ「スース」港ニ向テ出發セリ又同日一般砲撃ノ終リニ臨テ市街ノ左端ナル城砦「カスバ」ヲ砲撃ス

七月七日早天「レーヌ、ブランシュ」號「アルマ」號ノ二艦ハ徐々市街ヲ砲撃シ午前九時四十分「イエーヌ」號「シヤカール」號ノ二艦ハ敵ニ其右舷ヲ向ケテ航行セシカ應テ十一時十分ニ至リ陸地砲臺ニ向テ發砲ヲ始メタリ其後暫ク在テ指揮官「モレル、ビウリユー」氏及ヒ數名ノ士官ハ偵察トシテ「アルマ」號ノ附属小蒸氣船ニ乗組ミ陸地ニ進テ一直線ニ水上砲臺ヲ砲撃シ砲臺之ニ應スレモ一彈モ我ニ達着セサリキ午後ニ至リ「カノート、タンポール」船ニ薄キ鉄板ニテ製シタル「シヤルロ、

ウ、バーヂ」ノ類十四<sup>オシナト</sup>母砲一門ヲ備裝シテ陸地ニ近接シテ右ノ小蒸氣船ニ合力セリ

七月八日金曜日午前「アルマ」號「サルト」號「レーヌ、ブランシュ」號ノ三艦其軍裝端船ヲ以テ大觀威ヲ試ミ一千米突以内ニ近ツキテ活潑ナル射撃ヲ始メシカ十時二十五分ニ及テ「イエーヌ」號「シヤカール」號ノ二艦之ニ來援ス其後「アルマ」號「レーヌ、ブランシュ」號ノ二艦長及ヒ山砲隊指揮ハ「シヤカール」號艦上ニ會合シテ軍議スル所有リシカ先任官ヨリ諸方ヲ指揮セリ此交戦中ニ敵兵ハ僅々七彈ヲ放テ應撃シ其蜂巢砲ヨリ發射シタル一彈ニ中リテ我カ水兵ノ一人輕傷ス十一時四十分砲撃ヲ停止シ一般ノ呼船旗ヲ掲ケタリ此戦ニ我カ狙撃セシ彈丸市街ノ左端ナル亞刺比亞人街ヲ敗リ就中其右端ニ櫛比セル「ムーリ

シ」人ノ家屋及ヒ羅馬寺院砲臺ニ於テ大ナル損害ヲ與ヘタリ又砲臺ヨリ發射シタル彈丸數發我ガ砲艦ノ圓材ニ中レリ午後一時二十五分先任旗ヲ撤シ前ノ二艦長及ヒ山砲隊指揮等ハ「シヤカール」號ヲ退散シテ各、歸艦セリ又同夜ハ海濱ニ近接シテ敵狀ヲ探察ス九日「レーヌ、フランシユ」號「アルマ」號及ヒ「シヤカール」號ノ三艦ハ砲臺ヲ砲撃セシニ敵兵僅々二彈ヲ應發セリ是ヨリ後數日間ハ全ク靜謐ナリキ

「スハックス」港攻撃及ヒ略取ノ事 一千八百八十一年  
七月十四日十五日

七月十四日遠征艦隊「スハックス」沖ニ來着セリ一体其沖合ヨリ「スハックス」ニ近接スルニハ船路甚タ困難ニシテ小蒸氣船又ハ大端船ノ如キニ在リテハ近クハ二千乃至四千米突ヨリ少シモ海濱へ近ツクヲ能ハス最モ小端船ナレハ滿潮ヲ待テ漸ク海岸ニ到達スルヲ得可キモ

其海濱遠淺且ツ泥土深軟ニシテ固ヨリ徒涉シ難シ

諸鉄裝艦海岸ヲ距ル六千五百米突ノ所ヨリ各、其吃水ノ深淺ニ從テ投錨シタルヨリ司令長官海軍中將「ガルノール」氏ハ重旋回砲ヲ以テ徐ロニ砲撃ス可キヲ命シ同時ニ各砲艦ハ海岸ヲ距ル二千米突ノ所ニ位置ヲ占メテ岸上ノ兵營及ヒ市府ノ城壁ヲ破壊ス可シトナリ

七月十六日未明ニ於テ艦隊烈シク砲撃ヲ始メ次テ司令長官ハ「コロチル、ヂヤメイヌ」氏ノ指揮セル第九十二號ノ六大隊ト第三十六號ノ聯隊ト自己ノ艦隊兵員ト「ルバン」分艦隊ノ海軍旅團トヲ以テ上陸セシメタルニ水兵等ハ滿潮ノ好機會ヲ得各、其名譽ヲ博セント欲シ勇ヲ鼓シテ海岸ノ方ニ突進シ忽チ海岸及ヒ市街ノ此處彼處ヲ十分ニ占領セリ而シテ豫テ進撃ノ時ノ爲メニ用意シタル綿火藥ヲ以テ諸門ヲ

破毀シ又街頭ノ此處彼處ニ於テ敵兵トノ接戦起レリ第九十二號ノ六  
大隊ハ海軍旅團ニ後ル、凡三十分ニシテ上陸セシカ海軍旅團ハ交  
戦ノ半其援兵ノ來ルヲ視テ大ニ力ヲ得其他大隊モ亦直ニ之ニ次テ上  
陸セリ此時死亡九名内水兵八名「アルマ」號ノ少尉補「レオンチク」等ア  
リ及ヒ負傷四十名内「ル、ヴァンシユ」號ノ少尉「ウヰグチル」ハ面部ニ  
輕傷セリ

右ノ砲撃及ヒ上陸ノ目的ニ付キテ司令長官ノ豫定サレタル要略左ノ  
如シ

- 一砲撃ハ「コルベル」號ヨリ打出ス第一砲ヲ相圖トシテ午前第四時三十分ヨリ同第五時迄ノ間ニ始ムル事
- 一兵員ヲ搭載シタル各端船ハ午前第六時前ニ成丈ヶ海岸ニ近ツキ居

ル事

- 一「レオバル」號ヨリ信號ヲ以テ各端船ノ陸地ニ進行ス可キ時ヲ指示スルキハ各艦此信號ニ應答スル事
- 一艦隊ノ各端船及ヒ土船「マホンチヌ」ヲ合セテ一時ニ三千人ヲ搭載スル事但「イントレピード」號ニ水兵一千五百人「サルト」號ニ歩兵一千四百人ヲ乗組シメタリ
- 一運兵船ニ乗組ム所ノ歩兵ハ右端船ノ海岸ヨリ歸着次第直ニ之ニ乗組ミテ上陸スル事
- 一司令長官ハ上陸順序ノ神速嚴肅ナルヤヲ監督シ且ツ兵員ノ着岸スルヤ否ヤ直ニ之ヲ整備シテ「ユロチル、ヂヤメイヌ」氏ノ麾下ニ附シ交戦ノ點ニ向ヒテ一時ニ進撃セシムル事

一千潮トナルニ從テ端船ヲ着クルノ場所唯一個所有ルノミ且ツ此處ハ「スハックス」諸砲台ニ面シテ直接ニ砲撃ヲ受ルノ恐レアルカ故ニ總テ沿岸淺水ナルニモ拘ハラス他ニ上陸所ヲ擇ハサルヲ得ス是ヲ以テ各鉄裝艦ノ「トッブ、スル、ヤード」ヲ用ヒ一種ノ浮橋ヲ構造シテ上陸隊ニ充ツル可ク此浮橋ハ成丈ケ海岸ニ近ツキ得ルヲ主トシ艦長「デヨッヂ」氏ヲシテ之カ構造ヲ主管セシムル事

一艦長「トリヨ」氏ハ「コルベル」號「ル、ヴァンシユ」号「フライラント」號三艦ノ軍裝備船ト「サルト」號「イントレピード」號二艦ノ鉄艇「各」ホウキツル「砲」一門ヲ裝置ストナ指揮シテ午前第四時二十分ヨリ同第五時迄ニハ成丈ケ海岸ニ近ツキ居ル可ク又各砲艦ハ海岸ヲ砲撃掃除シテ端船隊ヲ掩護ス可キ事

一鐵裝艦六艘ニ於テ準備シタル浮橋ハ各其附屬小蒸氣船ヲ以テ之ヲ曳キ前夜中ニ成丈ケ海濱ニ近ツケ置ク事

一各鉄裝艦ニ於テ水雷艇二艘ヲ準備シ之ニ若干ノ小水雷及ヒ艦内製ノ砂囊等ヲ積載スル事

一「レーヌ、ブランシユ」號ノ艦長「マルケサック」氏ハ「モレル、ビユウリユ」氏「デヨッヂ」氏「トリヨ」氏及ヒ其他鯨獵船士官ヲ指揮シテ海岸上陸ノ事務ヲ擔任スル事

一上陸隊ヲ分テ三大隊トシ「アルマ」號艦長「ミオ」氏「コルベル」號艦長「マルク、ド、サン、ヒレール」氏及ヒ「トリーダン」號艦長「マレンジャー」氏ヲシテ各之ヲ指揮セシメ又「ル、ヴァンシユ」號艦長「タバリユ」氏ヲシテ艦隊ノ砲隊ヲ指揮セシムル事

一艦隊ニ於テハ水雷艇ノ一分遣隊ヲ備フ可ク又鯨獵船ヲ以テ浮橋ヲ曳キ傍ヲ兵員ヲ護送スル端船ノ陸地海岸ニ赴クヲ便ニスルノ用ニ供フル事

一各四挺ノ楫ヲ備ヘタル土船「マホンチス」二十八隻ト艦隊ノ軍裝端船トニ於テハ「サルト」號「ラガリソニール」號「レーヌ」アラシユ「アルマ」號「コルベル」號「ル」ヴァンシユ「號」フライランド「號」トリーダン「號」シユルヴェヤント「號」マランゴ「號」及ヒ「イントレピード」號ノ十一艦ヨリ配附スル所ノ兵員ヲ積載ス可ク又上陸點ヲ海軍埠頭及ヒ「アルファ」埠頭ノ二個所ト指定スル事

十六日午前第二時三十分ヨリ同第三時迄ノ間ニ交戦諸方ニ起リ艦隊ノ一方ハ頻ニ市街ヲ砲撃シ鯨獵船及ヒ小蒸氣船ハ浮橋ヲ曳キテ進行

軍裝端船ハ水上砲台ヲ距ル東五百米突ノ所ニ於テ戦列ヲ整ヘタリシカ右浮橋ハ小錨ヲ海岸ニ投シテ之ニ曳綱ヲ取リテヨリ後ハ容易ニ之ヲ海岸ニ曳キ附クルヲ得タリ

亞刺比亞兵ハ地利ニ據リテ塹溝ヲ掘リ枯藁ヲ積堆シテ完全ナル胸壁ヲ築キシテ以テ勢之ヲ破毀セサルヲ得ス直ニ軍艦ヨリ發砲シテ是ヲ破壊ス枯藁爲メニ燃ヘ恰モ此時烈風東吹シ煙焰市上ヲ覆ヒ守兵胸壁ヲ棄テ、逃走ス同時ニ端船及ヒ砲艦ハ頻ニ發砲シテ亞刺比亞兵ノ市外ヨリ來援スルヲ防止セリ此時海軍少將「コンラー」氏ハ「レオバル」號艦上ニ其旗章ヲ懸ヘシツ、機會ヲ量リテ信號スルヤ否ヤ早ヤ既ニ陸地ニ近ツキテ今ヤ信號ノ遲キヲ待テタル所ノ我各端船ハ直ニ海岸ニ進行シテ各分遣隊戰爭ニ掛リケルカ少尉「コーツール」ノ指揮ニ屬シ



テ第一番ニ上陸シタル「トリーダン」號ノ一手ヲ以テ水上砲台及ヒ南部塹溝等ヲ擊破リタルヲ以テ敵兵我ヲ射ルノ恐ナク海濱ニ於テ容易ニ上陸隊ヲ整備スルヲ得是ヨリ益々烈シク砲撃シテ終ニ亞刺比亞兵ヲ潰散セシメタル也實際城壁ニハ一ノ彈痕ダニ止メサリシ是ニ於テ端船砲水雷等ヲ以テ諸門ヲ破毀シ路ヲ市街ノ左右ニ開通セシニ攻撃隊ハ彈丸雨注ノ下ヲ冒シテ一齊ニ市内ニ押入り一方ヨリ其家屋ヲ占領セリ又「ルバン」分艦隊ノ大隊ハ城砦「カスバ」ヲ眼目トシテ遙カ先方ニ進ミシカ指揮官「ミオ」氏ハ城内ノ二門ヲ破毀シ午前七時三十分全ク此ノ城砦ヲ占領シタリ

此戰爭中各分遣隊ノ間ハ間斷無ク相聯絡シ第九十二號大隊及ヒ第三百三十六號大隊ノ位置シタル右翼ヨリ艦長「ミオ」氏ノ指揮セル左翼ニ

至リ同所ヨリ艦長「マルク、ド、サン、ヒレール」氏ニ達シ是ヨリ「コロチル」「ヂヤメイス」氏ニ通シテ終始其交通ヲ絶タサリキ

扱テ以上ハ作戰ノ一般ヲ寫出スニ止ル而已ニシテ「スハックス」占領前ノ戰況及ヒ「スハックス」占領ノ役務ニ關係セル士官水兵ノ動作ノ説明ノ如キハ即チ是レニ關係セシ士官ノ左ノ報告ヲ待テ明カナル可シ左ニ掲記セルハ即チ地中海演習艦隊司令長官ノ麾下ナル「ルバン」海軍分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏ノ報告ニ係ル

余ハ中將閣下ノ命令ニ從ヒ七月十六日「スハックス」占領ニ於ル作戰ノ報告ヲ左ニ進呈ス

閣下早ヤ既ニ先陣シタル我カ「ルバン」分艦隊ニ與フルニ此攻撃ニ與カル可キ名譽ノ任ヲ以テセラレ又敵地形狀ノ甚タ困難ナリシヨ

リ「レーヌ、ブランシュ」號ノ艦長「マルケサック」氏ニハ務メテ神速ニ  
 城塞「カスバ」ヲ占領ス可キノ戰務ヲ帶ハシメ以テ「ルバン」分艦隊ヨ  
 リ出ス所ノ海軍旅團ノ指揮ヲ委任セラレタルカ此等作戰ノ命令ヲ  
 取ルヤ抑、閣下厚情ノ致ス所ナリキ閣下復余ニ許スニ此砲戰中各  
 砲艦ノ發砲ヲ指定スル爲メニ「レオパル」號艦上ニ余ノ旗章ヲ掲ク  
 ルヲ以テセラレ余ハ實ニ鳴謝ニ堪ヘサルナリ又「レーヌ、ブラン  
 シュ」號及ヒ「アルマ」號ノ二艦長ノ勳功ノ赫々タル閣下ノ深キ賞譽  
 ニ預カラントテ敢テ閣下ニ冀望ス  
 叔ア豫テ閣下ノ發布セラレタル命令ニ從ヒ上陸隊ハ總テ拂曉ヲ期  
 レテ其陣地ニ着キシカ此上陸隊ハ初メニハ鉄裝艦ト砲艦トノ一般  
 砲撃ヲ以テ掩護セラレ後ニハ之ヲ掩護スル爲メニ豫テ配置セル端

船ノ發火ト「イントレピート」號及ヒ「サルト」號二艦ノ平底船ノ忽微  
 砲トニ依リテ保護セラレ斯クテ海軍旅團ハ三陣ニ制シテ水上砲台  
 ヲ距ルヲ凡一千米突ノ處ニ進ミ上陸點ニ近接セリ即チ左翼ニ於ル  
 二陣ハ砲台ノ正面ナル埠頭ノ方ニ進航シ又右翼陣ハ「アルファ」埠  
 頭ノ右方凡二百米突ナル一ノ埠頭ノ方ニ進行セシカ水導者此點ハ  
 或ハ潮水ノ淺カラントテ懸念スルヨリ艦長「マルケサック」氏ハ右  
 翼陣ヲ作りテ他ノ二陣ト同所ニ上陸セシメタリ  
 城塞「カスバ」防波石壁ノ設ケ有ル港灣ノ水上砲台「トロイス、ピシ  
 ス」砲台等ヨリ我カ端船ニ向テ機砲ノ發射ヲ始メタルト同時ニ海  
 岸ノ家屋及ヒ塹溝中ヨリモ亦烈シク發火スルニモ拘ハラヌ端船及  
 ヒ平底船ハ必死ヲ極メテ神速ニ上陸點ニ向テ撐ヘタルニ艦長「デ

ヨツザ「氏ハ豫テ鉄裝艦ノ「トッフスル、ヤード」ヲ以テ構造シタル  
 浮橋ヲ早ヤ既ニ此所ニ着ケテ我カ兵ノ上陸隊ニ供セリ、又テ艦長カ  
 斯、ル彈丸雨注ノ下ニ立テ斯、ル敏捷活潑ナル運動ヲ施行シタル  
 ハ感スルニ餘リ有リ余ハ實ニ其褒賞スル所ヲ識ラス抑、我カ兵員  
 ハ此精功ナル浮橋ノ設置有ルカ爲メニ海濱ノ淺水ナルニモ拘ハラ  
 ス乾靴ヲ着シテ容易ニ海岸ニ進達シ直ニ端船ヲ飛下リ砲台守兵ヲ  
 逐退ケ次テ南部塹溝ノ守兵ヲ其左方ヘト追撃シ艦長「ミオ」氏ハ自  
 己ノ端船旗ヲ採リテ砲台ニ掲ケシガ「トリーダン」號ノ端船員ノ一  
 人モ亦同ク其端船旗ヲ砲台ニ掲ケタリ若干水兵ノ死傷ハ此瞬間ニ  
 在リシ

亞刺比亞兵敗績逃走ス「ミオ」氏及ヒ「マルク、ド、サン、ロレール」氏

ノ二艦長カ指揮セシ「陣ハ海濱ニ路シテ市内ニ突進シ「トロイス、  
 ビンス」砲台ノ掠取ヲ命セラレタル「ラ、ガリソニール」號ノ小隊ハ  
 直ニ其攻撃ニ掛リテ砲台ノ柵壁ヨリ乘人リシカー等少尉補「バノ  
 ン」掌砲手「ガーベル」ハ進テ敵ノ國旗ヲ撤シ之レニ佛ノ國旗ヲ掲  
 ケタリ而シテ大砲ニ釘シ火藥彈丸ノ如キハ之ヲ豫備ニ運搬シテ充  
 分ノ功ヲ奏シケルカ此時前ノ二陣ハ家屋内ニ潜伏セル亞刺比亞兵  
 ト烈シク彈丸ヲ交ヘタリ

艦長「ミオ」氏ハ其進行スルニ及テ塹溝中或ハ家屋内ヨリ頻ニ發射  
 スル所ノ亞刺比亞兵ヲ驅逐セシニ其攻撃ノ舉動頗ル花々シク終ニ  
 敵兵ヲシテ全ク退散セシメタリ是ヨリ水雷ヲ以テ諸門ヲ破毀シ次  
 テ「レーヌ、ブランシュ」號及ヒ「アルマ」號ノ小隊ヲ引率シテ城砦

「カヌバ」ノ攻撃ニ掛リ午前七時四十五分ニ至リテ全ク之ヲ占領セ  
リ此進軍中ニ敵ノ發火既ニ衰ヘリ一等少尉補「レオンチク」負傷シ  
其後終ニ死去シタルハ蓋シ我カ兵ノ城砦「カヌバ」ニ達スルノ殆シ  
ト前ニ在リ而シテ上陸後ハ軍艦ヨリノ發砲ヲ停止シ獨リ砲艦ノミ  
ヲ以テ逃避スル所ノ亞刺比亞兵ニ向テ續々砲發セリ又端船ハ絶エ  
ス「イントレピート」號ヨリノ兵隊上陸ニ從事シ數時間ヲ經テ歩兵  
砲兵等ヲ合セテ全遠征軍悉ク皆安然ニ上陸シタリ  
第九十二號大隊ハ一番ニ上陸シテ墓地ノ右端ニ進ミ爰ニ大ニ力戰  
シ續テ「アルファ」倉庫ノ外方ニ進行セシカ此戰爭中ニ其第一小隊  
ノ負傷セシ者凡二十名内士官一名有リ又軍裝端船ハ右翼ニ排列シ  
テ頻ニ敵ノ發火ヲ抑止シ同時ニ市街ノ北東隅ニ忽微砲數門ヲ据ヘ

軍裝端船ニ援助シタルハ凡九時二十分頃ナリシ  
「スハックス」占領ノ役ニ於テハ概シテ我カ砲手並ニ水兵ノ熟練勇  
敢ナリシト又此砲手水兵ニ援助シタル所ノ隊伍トハ大ニ其信用ヲ  
置クニ足レリト云フ可シ

一千八百八十一年七月十八日「スハックス」港碇泊ヲガリソ  
ニール「號ニ於テ「コンラー」

艦長「マルク、ド、サン、ホレール」氏ノ「スハックス」海濱陸上ノ指揮ヲ  
命セラレタルコトハ既ニ吾人ノ識ル所ナリシカ左ニ記述スルハ即チ同  
氏ノ指揮中ニ於テ仕遂ケラレタル所ノ作戰ノ報告ニ係ル

余ハ「スハックス」占領ニ於テ海軍旅團ノ負擔シタル職務ニ附キ左  
ニ其報告ヲ進呈ス

部署、命令、豫メ各士官ノ擔務ヲ定ムルコトノ必要欠ク可ラサルコトヲ認メ步兵二大隊ヲ編制セリ此大隊ハ艦隊各艦ノ分遣隊ヲ以テ組織シ余ハ自ラ其第一大隊ノ指揮ニ當リ艦長「マレシヤール」氏ハ第二大隊ヲ指揮シ砲兵二大隊ハ（各隊六十五「ミリメートル」砲六門）「コンマンドル」タバリエー」氏ノ配下ニ附シ艦隊ニ於テ準備シタル水雷隊ハ大尉「ラフチン」ノ配下ニ附シ又軍醫「ギエ」ヲシテ繙帶所ノ事務ヲ負擔セシメタリ

海軍旅團ニハ各自一日宛テノ糧食ヲ携帯セシメ銃隊各兵ノ彈藥ヲ九十六包トシ砲隊各砲ノ彈藥ヲ五十六發トシ其他糧食彈藥等ヲ豫備セリ而シテ余ハ上陸未タ終ラサルノ間ハ此方面ノ指揮官タル艦長「マルケサツク」氏ノ麾下ニ從ヒ而シテ土船「マホンチス」ニ乗組

タル第一大隊ヲ以テ（初メニハ挽カレ後ニハ撐ヘテ）「ルバン」分艦隊兵員ノ乗組ミタル土船「マホンチス」ノ背後ニ附從シテ一條ノ海峽内ニ進ミ右分艦隊兵員ト同ク海軍埠頭ニ上陸セシメ第二大隊ヲ以テ其一部ナル軍裝大艇ヲ左方ニ進メテ先ツ海濱ヲ芟除シ然ル後第一大隊ト同所ニ上陸セシメ又第九十二號大隊ノ步兵ヲ以テ海軍埠頭ノ右方ナル二百米突ノ處ニ於テ水兵ト一齊ニ上陸セシメントセリ而シテ上陸既ニ終リタル後ニ至リテハ余ハ總指揮官「コロチル」「ヂヤメイヌ」氏ノ麾下ニ隨ヒ海軍埠頭ノ左方ナル「カルチユエー」フラン「歐羅巴人居留地」ヲ占領シテ此方面ノ指揮ヲ取ラント欲シ豫メ左ノ命令ヲ與ヘタリ

一番ニ上陸スル所ノ隊伍未ダ「ルバン」分艦隊ノ兵員ト聯絡セサル

場合ニ於テハ其隊伍ハ先ツ海濱ノ砲台塹溝等ヲ攻撃シ然ル後「カ  
ルチユエー、フラン」ニ向ヒ其方面ヨリ敵兵ノ攻撃ニ注目シテ進行  
ス可ク背後小隊ハ豫備兵タル可ク第一砲隊ハ海岸ニ於テ整備スル  
ヤ否ヤ直ニ其分隊ヲ進メテ一般ノ地位トシテ戰場ノ中央ヲ占ム可  
ク第二砲隊ハ左翼ノ交戦ニ援助ス可ク又「ルバン」分艦隊ノ砲隊ハ  
第九十二號大隊ノ命セラレタル右翼ノ攻撃ニ援助ス可シ交戦各端  
船悉ク皆定時ニ來着シタルヲ以テ前陳ノ命令ニ隨テ上陸ヲ始メ  
土艦「マホンチス」ハ其中央ニ在リテ二個所ノ尖高塔ヲ備ヘタル砲  
台ニ向ハシメ漸次海岸ニ近接スルニ及テ第二大隊ハ其挽綱ヲ解キ  
放シ殘餘ノ距離ヲ漕キ進ミシカ余ハ第九十二號大隊ノ稍他ニ後  
レタルニ依リ「シユルヴエヤント」號ノ小蒸氣船ヲ發遣シテ之ヲ挽

カシメ程無クシテ又第二大隊ノ遙カ左方ニ行過キシヲ以テ其位置  
ヲ復サシメタリ時ニ九十二號ノ水導者「アルファ」埠頭ハ或ハ海水  
ノ淺カラント告ケタルニ依リ指揮官其大隊ヲシテ海軍埠頭ニ上陸  
セシム斯クテ海軍埠頭止タ一個所ノ上陸所トハ爲リタリ

信號旗(前ニ記載セシ如ク此信號ハ即チ各端船陸地ニ突進ス可キ  
時ヲ指示ス)ヲ掲ケシキハ多クハ端船海岸ヲ距ル三百乃至四百米  
突ノ所ニ在リシ且ツ此時突進ノ號砲ヲ命スルヤ否ヤ進メヤ進メノ  
聲四方ニ轟キ或ハ漕キ或ハ棹サシ力ヲ限リト船足ヲ早メ必死ヲ極  
メテ彈丸雨注ノ下ヲ侵シテ海岸ニ急馳セシカ第二大隊ノ端船ハ第  
一大隊ノ土船ヨリモ一層早ク進ミシノミナラス意外ニ海水ノ深キ  
ヲ以テ第一大隊ノ前ヲ横切リテ海岸ニ進達シ先ツ「トリーダン」號

ノ第一大艇第一ニ砲台下ノ埠頭ニ上陸シテ其砲口ノ邊ニ彈丸ヲ受ケタレモ幸ニ些少ノ損害ヲモ被ラザリキ此時少尉「クリチユリエ」氏非常ノ勇氣ヲ奮ヒ跳テ埠頭ニ登リ次テ一人ノ輕歩兵モ亦之ニ倣ヒシカ忽チ殺サレ只「マルタン」ナル他ノ輕歩兵氏ト共ニ砲台ニ突進シテ青色旗ヲ撒シタリ如斯「トリーダン」號ノ一小隊ハ猛烈ナル彈丸ヲ侵シテ上陸シ塹溝砲台内ノ亞刺比亞兵ヲ攻撃シ終ニ之ヲ潰散セシメタリ

余ハ第一大隊カス、ル至良ノ目的有リナカラ同時ニ上陸スルヲ得サリシヲ以テ遙カ余ノ背後ニ之ヲ殘シ「トリーダン」號小队ノ上陸後ニ及テ海軍埠頭ノ右側ナル砲台下ニ上陸ス時ニ其左方ナル塹溝内ニ整備スル所ノ「シユルヴェヤント」號ノ二小队ヲ視尙ホ進

テ前方ニ至リケレハ「トリーダン」號小队ハ其右方ナル鋒頭堡ノ下ニ整備シテ更ニ左翼ニ其位置ヲ占メントス第九十二號隊ハ尙ホ遙カ諸隊ニ後レタリ此時余ハ余ノ傳令使少尉補「ホムズー」ニ命シテ「シユルヴェヤント」號ノ艦長ヲ探索セシメタレモ終ニ見出ス可クハサリシカ程無クシテ艦長ノ右翼ニ進行セシテ判然セリ余ハ恰モ此時上陸シタル「マランゴ」號ノ兵員ヲシテ直ニ左翼ニ進メテ「トリーダン」號兵員ヲ援助セシメ而シテ砲兵ノ一部ト第一隊ノ一部トヲ余ニ分遣スヘキヲ命シ「カルチユエー、ワラン」ノ中央門ニ進行セリ抑余ハ右兵隊ノ來着スルヲ待テ此門ヲ毀テ府内ニ闖入セント欲シ先ツ余カ引率シタル所ノ若干兵ヲ以テ此門ヲ擊破ラシメタレモ終ニ之ヲ果ス可ク能ハザリキ時ニ砲兵ノ一部漸ク來着ス是レ必

五十六

ス「トリーダン」號ノ兵員ナラン而シテ恰モ此砲兵カ其位置ヲ占メタルキ大尉「ラフォン」モ亦水雷隊ヲ引率シテ來着セリ之ニ依テ直ニ砲兵ヲシテ砲ヲ縛附セシメ水雷ヲ以テ此中央門ヲ破毀セシメタリ此時余ハ左翼ヨリ猛烈ナル銃聲ノ頻ニ近ツキ來レルヲ聞キテ其方向ニ進ミ「ハービー」門ニ到レリ爰ニ「トリーダン」號ノ兵員ニ出逢ヒ又海岸近ク尙ホ左翼ニ於テハ「マランゴ」號ノ兵員有リテ既ニ「ハービー」門ヨリ逆撃シ來ル所ノ騎兵歩兵ニ向ヒ頻ニ發砲シ城砦「カスバ」トモ烈シク彈丸ヲ交ルヲ認メタリ扱テ同號ノ兵員ハ他ノ兵員ヨリモ能ク其身ヲ隱蔽シテ進行セシモ「コルベル」號ノ兵員ノ餘リ身ヲ敵彈ノ中ニ露出シテ亞刺比亞兵ヲ追撃セシ如キハ實ニ不注意ト云フヘシ此時「ブルメー」ナル一兵劇傷ヲ負ヒ「トリーダン」號

ノ軍醫ト共ニ亞刺比亞兵ニ取圍マレ「ブルメー」奮ツテ敵兵二人ヲ斃シ其旗一流ヲ奪ヒシカモ身ニ二個ノ銃彈ヲ受ケテ終ニ斃レリ勿論此際我カ全隊ハ進テ「ブルメー」ヲ救ヒ出サンヲ勸メタレモ終ニ之ヲ果スヲ能ハスシテ退去セリ是ヨリ余ハ遙カニ隔リタル城砦「カスバ」ノ邊隅ニ進ミ事務ノ景況ヲ監視シ而シテ「ハービー」門ヲ破毀ス可キヲ命シ茲ニ二小隊ヲ駐留セシメテ「カルチユエー」「フラン」ニ歸レリ途次「コルベル」號ノ一部ナル小隊ヲ整備シケルニ此小隊ハ他ノ兵員ニ屬セシ土船ニ散在シテ最後ニ上陸セシヲ以テ甚タ整頓セサリシ而シテ余ハ中央門ヨリ府内ニ進入ス此門ハ曩ニ余カ左翼ノ方ニ巡視中大尉「ラフォン」之ヲ破毀セリ其後暫クシテ上陸全ク終リ各小隊悉ク皆府内ニ闖入



ス即チ「ル、ヴァンシユ」號ノ小隊ハ砲彈ヲ以テ破壊シタル「ナヤルチ  
 ー」門ヨリシ「フライラント」號ノ小隊ト「コルベル」號ノ小隊ノ一部  
 トハ鋒頭堡ノ右側ナル海濱ヨリシ我カ兵府内ニ充滿ス然レモ亞刺  
 比亞兵ハ此處彼處ノ家屋内ニ潜伏シテ尙ホ其銃聲ヲ絶タサリキ  
 午前七時二十分余ハ亞刺比亞市街ノ門ニ到ル恰モ此時其第一門ヲ  
 破壊セリ此處ニ「コロチル」「ヂヤメース」氏並ニ艦長「ミオ」氏ニ面會  
 シテ左翼ニ於ケル事務ノ景況ヲ報告セシニ「コロチル」「ヂヤメイス」  
 氏ハ余ニ命シテ進軍ヲ此ニ止メ敵地ニ深入スルヲ勿ラシム是ニ於  
 テ大尉「ラフオン」氏ト氏ニ属スル水雷隊トヲ止メテ艦長「ミオ」氏ノ  
 指揮ニ附シ又「ル、ヴァンシユ」號及ヒ「トリーダン」號二艦ノ小隊ヲ  
 府内ニ留メテ家屋探偵ヲ命シテ豫備兵トス

尋キテ他ニ用フ可キノ見込アリシヲ以テ「フライラント」號ノ兵員  
 「コルベル」號ノ兵員及ヒ該二艦ノ砲兵ノ一部ヲ余カ配下ニ取レリ  
 「シユルヴェヤント」號兵員ノ如キハ更ニ其所在ノ報知ヲ得ス思フ  
 ニ或ハ右翼ノ外端ニ在リシナランカ  
 是ヨリ余輩ハ府ノ城壁ニ沿ヒテ潛行シ「ハービー」門ヨリ出ツルヤ  
 砲兵ノ之ヲ通過スルニ方リ左側ナル家屋内ヨリ俄カニ烈シク發銃  
 シ「フライラント」號ノ兵員一名即死シ「ラ、ガリソニール」號及ヒ「レ  
 ーヌ、ブランシユ」號ノ兵員數名負傷ス是ニ於テ砲兵ハ直ニ其家屋  
 ノ背後ニ位置シテ之ヲ打拂ハントシテ未ダ發砲スルノ間合無キニ  
 右翼却テ益々危急ナリシヲ以テ砲兵ハ此處ヲ引揚ケテ速カニ右翼  
 ニ進行シタリ余輩ハ續テ北部ニ向ヒ七時五十分城砦「カスバ」ノ邊

隅ニ進達セシカ此ニ佛旗ノ翻ヘルヲ望ミテ我カ兵皆欽喜ノ意ヲ表  
シ異口同音ニ共和政治萬歳ト呼ヘリ是ヨリ「ユルベル」號ノ小隊ハ  
稍城壁ヲ隔タリ「フライランド」號小隊砲兵等ハ城壁ニ接シテ進行  
セシカ同艦小隊ノ四名俄然中央塔ヨリ發射シタル銃彈ニ中リテ負  
傷ス之ニ依リテ余ハ恰モ此時上陸セシ所ノ第三百三十六號隊ヲ引率  
シテ市街ノ西隅ニ急駛シ稍暫シノ間亞刺比亞兵カ城壁ノ銃窓或  
ハ遊園地近傍ヨリ頻リニ發砲スルニ應戰ス此時油庫ノ背後ニ騎兵  
ノ群集スルヲ認メ直ニ其防禦用意ヲ爲セシカ幸ニ其攻撃ヲ受ケ  
サリシ之ニ依リテ「ユルベル」號ノ小隊ヲシテ該油庫ヲ占領セシメ  
又「フライランド」號ノ小隊及ヒ余輩ニ從ヒ來ル所ノ「アルマ」號ノ小  
隊ノ一部ヲシテ「バブゲッピ」門ヲ破毀セシメタルニ該油庫ヲ占

領スルコトハ甚タ容易ナリシト雖モ該門ヲ破毀スルノ一事ニ至リテ  
ハ極メテ困難ナリシ蓋シ之ヲ破毀スルノ業ハ最モ「テッキスル」氏  
カ老練ノ力ニ之レ由レリ同氏ハ夫ヨリ府内ニ進入シテ回々教大寺  
院ヲ占領シタリシカ亞刺比亞兵ハ此戰ニ廣濶ナル地點ヲ獲ント企  
テ却テ自ラ若干兵ヲ失ヘリ然レモ若干ノ亞刺比亞兵尙ホ我カ前面  
ノ遊園内ニ在リテ未タ退去セサルヲ以テ「ユルベル」號ノ小隊及ヒ  
第三百三十六號大隊ノ一小隊ヲ發見シテ之ヲ攻撃セシメ又右翼面ニ  
運動スル我カ銃手ノ東部油庫ノ正面ニ於テ戰フ所ノ第九十二號大  
隊ニ聯合セシヲ以テ余モ亦砲兵ノ一部ヲ發遣シテ之ニ援助セシメ  
其後余ハ此戰況ヲ指揮官ニ通信シ思ヘラク我カ事既ニ成レリト夫  
ヨリ海岸近ク右翼ノ外端ニ在リテ余ト朝來相見サル所ノ「シユル

ヲエヤント」號ノ小隊及ヒ余ト進軍セル諸兵ヲ招回セシニ諸兵甚  
 タ疲勞ノ色有ルヲ以テ隱蔽セル城壁内ニ休憩ヲ與ヘ而シテ此由ヲ  
 「コロチル」ニ申告セント欲シタ本門ニ到レリ偶近傍市中ニ井水有  
 ルヲ發見シ之ヲ我カ兵ニ通知ス兵員集テ水ヲ汲ムノ際側ノ小寺院  
 ヨリ忽チ烈シク小銃ヲ亂射ス幸ニ一人ノ死傷無シ之ニ依リテ直ニ  
 此方面ニ占據セシ所ノ「フライランド」號小隊ニ開戦ノ令ヲ與ヘタ  
 レモ大尉「ラフォン」カ歸着スル迄ハ開戦スルヲ能ハザリシ如何ト  
 ナレハ同氏ハ市内ニ阻礙セラレテ此時漸ク歸ルヲ得タリ既ニシ  
 テ我カ兵寺院ノ門戸ヲ破リ亞刺比亞兵投降ス俘囚四十二人其内一  
 人ハ貴人ナルカ如シ吾カ兵ノ死亡負傷八名ナリ俘囚ハ之ヲ本營ニ  
 送附セリ夫ヨリ余ハ市中ニ配置シタル總テノ哨兵ヲ巡視ス然ルニ

本營ヨリ更ニ交通無キヲ以テ又自ラ之ニ赴キ亞刺比亞市中ヲ通行  
 セシニ其北部ニハ「フライランド」號ノ小隊ノ外更ニ一人ヲ見ス其  
 他市中ニハ全ク人影タモ視サリキ而シテ「カルチユエー」フランニ  
 於テ「コロチル」ニ面會セシニ「コロチル」ハ先ツ余ノ報告ヲ聞キ余ニ  
 告テ曰ク最早汝ハ余ニ勤仕スヘキノ用無キヲ以テ余ハ汝ヲ解カン  
 トスト且ツ余カ水兵ヲ以テ援助シタルヲ謝シ且ツ余ニ歸艦ス可キ  
 ナ勸告セリ是ニ於テ旋軍市中ヲ通行シ諸兵ヲ集メテ海濱ニ進行セ  
 シメ此時余自ラ一軒ノ家屋ニ立入りシニ艦長「マレンヤール」氏此  
 處ニ在リテ援兵ノ來ルヲ待ツト云フ

午後三時海軍旅團悉ク皆海濱ニ集合ス時ニ兵員甚タ飢渴セルヲ以  
 テ麵包葡萄酒ヲ供給セント欲セ用之ヲ積載シタル小蒸氣船ノ短船

引用ニ當リテ此處ニ在ラサリシ故ニ如何トモスルヲ能ハサリシ夫ヨリ余ハ諸艦長ヲ一所ニ召集シテ余カ未ダ見聞セサル所ノ景況及ヒ各其隊下ノ死傷等ヲ報告セシメ而シテ小隊附按針長ヲ發遣シテ「カルチユエー、フラン」ノ一家屋内ニ留メ置キタル死亡者ヲ取纏ハシメ負傷者ノ如キハ海濱ニ運搬シ夫ヨリ直ニ「サルト」號艦内ニ送附セリ

余ノ背後及ヒ右翼ニ起リシ戰況ノ要略左ノ如シ

「ル、ヴァレンシュ」號ノ兵員死亡「二名負傷二名其内少尉」ビギユイエー」有リ但シ此兵員ハ府内遺漏無ク搜索ノ命ヲ受ケテ市内ニ留リシ者ナリ

「マランゴ」號兵員ノ一名上陸後左翼ニ於テ戰爭中重傷ヲ負フ其後

同號兵員ハ歐羅巴人居留地ノ左側ニ於テ視察兵トシテ滯留ス

「トリーダン」號ノ兵員ハ「ビーエ、フンシュ」ヲ占領セシカ初メ是レカ偵察中其兵員ノ五名負傷シ其内軍曹「デユクロ」ハ他艦水兵ノ二名負傷スルヲ視テ按針長「ドルーワ」ト共ニ之カ救助ニ赴クノ際屋内ヨリ發射シタル彈丸ニ中レリ其後同號兵員ハ歩兵一小隊ノ助勢ヲ得テ右翼ニ急駛シ油庫ノ攻撃ニ助力セリ

余ハ「シユルヴェヤント」號ノ兵員ノ二分隊カ始メ交戦ニ備フルヲ實見シ其後同號兵員ハ右翼ノ外端ニ於テ花々シキ働キヲ爲シタリ即チ該艦長「ラモト、デユゴルタイユ」氏ハ第一ニ陸上シタル其二分隊ヲ引率セシカ霎時ニシテ「トリーダン」號ノ兵員之ニ次キ又右翼ノ指揮官ナル艦長「マレンヤール」氏モ之ニ加ハリシヲ以テ右翼ノ

攻撃ヲ逆撃シ我カ兵一人ノ死傷無ク敵兵ヲ逐退ケテ墓地ニ攻撃ヒシカ此所ニ於テ亞刺比亞兵ト激烈ナル一條ノ狙撃戦争起リ「シユルヴェヤント」號兵員一名死亡シ三名負傷ス廳テ少尉補「レノ」ノ引率シテ最後ニ上陸セシ「トリードン」號ノ一分隊其背後ニ分隊第九十二號大隊ノ一小隊及ヒ砲兵等ノ諸兵續々來着シテ「シユルヴェヤント」號ノ兵員ニ援助セルヲ以テ墓地ノ先方ニ立連ナリタル柵壁ニ突キ入り銃鎗ヲ以テ悉ク之ヲ驅除セリ此時死亡一名負傷二名有リ而シテ「シユルヴェヤント」號ノ兵員ハ海岸近ク右翼ヲ維持シ第九十二號大隊ハ左翼ヲ維持シテ此戦争ノ局ヲ結ヒシカ此第九十二號大隊ハ遠ク遊園地ニ到ル迄敵ヲ追撃シテ終ニ自ラ烈シク敗亡ヲ蒙レリ然レモ概シテ此戦争ハ我カ兵ノ舉動ノ精練ナリシヲ以

テ僅々「トリードン」號ニ死亡一名負傷三名「レユルヴェヤント」號ニ死亡二名負傷五名有リシノミ又「ルバン」分艦隊ノ大隊ハ中央ニ於テ運動ス可キノ職務ヲ命セラレ水雷ノ助力ヲ得テ府内ニ進入シ終ニ城砦「カスバ」ヲ占領シタリ

病院事務ノ如キハ先ツ小繙帶所ニ於テ負傷者ノ直接治療ヲ施行シ而シテ之ヲ背後ノ大繙帶所ニ運搬スル等ノ手配能ク整頓シ且ツ止タ艦隊ノ一手ヲ以テ海陸軍ノ負傷者ノ治療ヲ施行セリ

一千八百八十一年七月十七日「スハックス」港碇泊「コルベル」號艦上ニ於テ「マルクドサン、ヒレール」

突尼斯遠征ニ關シテ我カ海軍ノ最も優勝ナル作戰ノ一ト稱ス可キ者ハ即チ「スハックス」ニ於テ上陸ノ爲メ浮橋ノ構造是ナリ左ニ掲記セ

ルハ艦長「マルク、ド、サン、ヒレール」氏ノ麾下ニ從ヒ浮橋構造方ヲ主管セシ艦長「デヨッヂ」氏ノ報告ニ係ル

余ハ閣下ノ命令ヲ遵奉シ遠征艦隊ノ各鉄裝艦ニ於テ構造セシ所ノ浮橋ヲ集結シテ之ヲ海岸ニ送致シ以テ我カ兵隊ノ上陸ヲ補助スル

ヲノ職務ニ關シ左ニ其報告ヲ進呈ス

七月十六日木曜日午前第三時余ハ「イントレピード」號ノ小蒸氣船ヲ以テ余カ配下ナル鯨獵船「士官」一名各船ヲ指揮ス「マラ」ノ「マラ」號ヲ出發シ而シテ其前夜ヨリ各鉄裝艦ノ浮橋ヲ預リ居ル所ノ砲艦ニ向テ進航シ此砲艦ニ著セシヤ否ヤ鯨獵船ヲ放テ遣リ而シテ浮橋ノ先頭ニ置ク可キ「マランゴ」號ノ筏ヲ我カ小蒸氣船ニ繫キ換ヘ士官ヲシテ浮橋ノ縛索方ヲ監督セシメ神速堅固ニ之ヲ縛リ附

ケ端々連接シテ之ヲ該筏ノ背後ニ從ヘ又其浮橋ノ兩側ニ添ヒテ諸鯨獵船ヲ繫キ留メ如斯用意完備セシヲ以テ二個所ノ尖高塔ヲ一線ニ望ミ防波石壁ノ設ケアル港ヲ距ル凡四百米突ノ處ニ進ミシキ其最終ノ浮橋ノ後端ヨリ爪錨ヲ投入シ小蒸氣船ヲ進メテ挽綱ヲ張りツメ浮橋ノ方向ヲシテ海濱ト直角線ヲラシメタレハ其位置最モ敵彈ヲ避ケルニ適シ且ツ速ニ運動ヲ始ムルニモ亦至良ノ位置ナリキ時ニ午前四時二十分ナリ而シテ砲撃中ハ余輩尙ホ此位置ニ在テ留レリ

艦長「マルケサック」氏ノ指揮セル大艇及ヒ土船「マホンチス」ノ幾ト我小蒸氣船ニ並置セシキ餘ハ鯨獵船ノ水夫中ヨリ其一名ツ、浮橋ニ乗セテ其楫ニ附カシメ而シテ鯨獵船ヲ發シテ右土船ヲ曳カシ

メタリ是ニ於テ爪錨ヲ揚ゲテ小蒸氣船ヲ進メ傍ラ浮橋ノ水夫ヲシテ其楫ヲ漕カシメ務メテ浮橋ヲ整合セシメ聽テ海岸ニ近接スルニ及テ浮橋ノ挽綱ヲ小蒸氣船ヨリ解キ放シ而シテ豫メ「トリーダン」號ノ「デンギー」ヲ以テ先方ニ投入シタル爪錨ト「マランゴ」號ノ鯨獵船ヲ以テ前方ニ運搬シタル小錨トニ索端ヲ取リテ浮橋ヲ海岸ニ引着ケタリ抑我浮橋ノ運動ハ一二ノ上陸端船ニハ稍後レタレモ終ニ「トリーダン」號ノ端船ノ上陸後ニ之ヲ附着シテ遠征軍ノ上陸ヲ輔クルノ具タルヲ得タリ

一千八百八十一年七月十八日「スハックス」港碇泊「マランゴ」號

艦上ニ於テ

「デヨッヂ」

艦長「トリーヨ」氏ハ艦長「マルク、ド、サン、ヒンール」氏ノ麾下ニ屬シテ

軍裝端船ノ指揮ニ當リ共ニ力ヲ戮セテ上陸諸兵ヲ保護スルノ職務ヲ擔任レケルガ其報告スル所左ノ如シ

余ハ「スハックス」攻撃ノ企圖ニ就テ閣下ニ委囑サレタル余ノ職務及ヒ其作戰ニ係ル事實ヲ左ニ簡單ニ述ヘ以テ閣下ノ高覽ニ供セント欲ス

閣下昨夜訓令ヲ口達セラレ次テ艦隊參謀長艦長「ビグチー」氏モ亦之ヲ余ニ再令サレ余ニ與フルニ拂曉ヲ期シテ成丈ヶ海濱ニ近接スルノ職務ト軍裝端船ノ指揮トナ以テセラル實ニ感戴ノ至リナリ扱テ余ノ方策ハ敵或ハ城堡外ヨリ援兵ヲ來シ或ハ攻撃セントセシニ依リ砲兵銃兵ヲ以テ先ツ海濱ヲ掃除シテ敵兵ノ集合ヲ防止シ然後テ全力ヲ以テ水上砲台ト堡障トノ發砲ヲ鎮壓シテ我カ兵ニ上陸

ノ便利ヲ與フルニ在リ又其結局若シ我ニ不利ヲ來スヲ有ラハ諸兵  
 ノ再ヒ端船ニ乗組ムヲ保護スルニ在リシ  
 然レモ此戰爭ニ於テハ一般方略ノ能ク整頓適中シタルト初ヨリ兵  
 員ノ勇敢精練ナリントニ因リテ右後段豫令ノ如キハ全ク不要ニ屬  
 シ止テ前段訓令ノ施行ヲ要セシノミ抑余ハ艦隊ノ軍裝端船ヲ余  
 ノ麾下ニ有シ之ヲ指揮スルノ法左ノ如シ「コルベル」號ノ端船ハ大  
 尉「レガルド、ル、ヴァンシユ」號ノ端船ハ大尉「ボンチー、フライラン  
 ド」號ノ端船ハ大尉「ギゴン、サルト」號ノ端船ハ少尉「フヘラウド」等  
 トシ又砲隊トシテ十二母砲サウズ四門四母砲サウズ一門及ヒ旋回野砲十三門ヲ  
 搭載シ此端船總テ十八隻トス此外薄葉鐵板製ノ平底船二艘ヲ增備  
 シ即ケ「サルト」號ノ平底船ニハ千八百五十八年製ノ十四母砲一門

ヲ裝備シ少尉「アルチー」ヲシテ之ヲ指揮セシメ「イントレピード」號  
 ノ平底船ニハ十六母砲條砲一門ヲ搭載シ大尉「フォール」ヲシテ之  
 ヲ指揮セシメタリ扱テ該二艘ノ平底船ノ如キハ運動中余輩ノ職務  
 ヲ盡スニ於テハ余輩ニ助力ヲ與フル蓋シ少々ニ非ラザリシ  
 午前二時三十分各端船皆其本艦ヲ發シ余ノ命令ニ從テ「マルマ」號  
 ノ艦尾ニ集合ス同四時三十分ニ至リ水上砲台ノ東五百米突ノ處ニ  
 於テ單横ニ列シ攻撃ノ用意既ニ整タリシカ其前夜「コルベル」號ノ  
 ●艦長カ端船ノ海岸ニ進航ス可キ航路ヲ偵察スルノ未ダ十分ニ精カ  
 ラザリシヨリシテ進行中往々海藻或ハ淺瀬ニ觸ル、ノ不便少ナカ  
 ラザリシ聽テ艦隊ニ於テ發砲シタル第一聲ヲ相圖ニ水上砲台ニ向  
 テ發砲ヲ始ムルヤ否ヤ砲台ヨリ頻ニ小銃ヲ發射シ我カ進行スルニ



及テ砲台東面ノ小砲台ヨリモ小銃ヲ打出スト同時ニ若干ノ亞刺比亞兵ハ乾草ヲ堆積シタル塚ノ背後ニ潜伏シテ類ニ小銃ヲ打出セルカ我カ榴彈忽チ火ヲ乾草ニ發シ黑烟空ヲ覆ヒ烈風東吹火勢益々募ルノ有様ナルヲ以テ我カ兵頗ル攻撃ノ便利ヲ得敵兵甚々防守ニ困ム小砲台守兵防戦ニ堪ヘスシテ終ニ悉ク城牆内ニ逃走セリ蓋シ此邊ノ城牆及ヒ塹溝中ニハ素ト敵兵ヲ以テ充滿セリ上陸隊士官ノ余ニ報道スル所ニ依レハ我カ發砲ト乾草ノ放火トハ敵ノ退去ヲシテ大ニ速カナラシメタリト云フ

我カ發砲頗ル命中シ亞刺比亞兵ハ我カ兵ノ土船「マホンチス」ニ充滿シテ今ヤ着岸セントスルヲ望ミ人馬雜踏海濱ニ群走シテ府内ニ逃走シケレハ我カ兵最早急撃ノ要無ク故ニ成丈ケ彈藥ノ節約ヲ主

トシ稍、間隙ヲ置テ發射セシメタリ特ニ我カ巡回野砲榴彈發射ノ熟練ナリント小銃急撃ノ精巧ナリントニ因テ全ク敵ノ隊伍ヲ潰散セシメタルノミナラス遊園地ヨリ府ノ東部ニ開通セル道路ヲ遮斷シ敵兵ノ通行ヲシテ甚々困難ナラシメ又平底船二隻ヨリハ榴彈ヲ放テ敵兵ノ逃走隱避セル村落及ヒ城外ノ遊園地ヲ打拂ヘリ却說初メ城牆ヨリハ敵兵極メテ疎ラニ發射セシト雖モ上陸隊ノ海岸ニ近接スルニ及テ益々烈シク打出セシヲ以テ上陸隊ノ浮橋ヲ取ル前ニハ兎角敵勢ヲ減殺セサルヲ得ス之ニ依リテ神速ノ運動ヲ要シ直ニ二隻ノ平底船ヲシテ海岸ニ近接シ直路ニ水上砲臺及ヒ南部塹溝ヲ占領セシメ余ノ端船モ亦同點ニ向テ絶エヌ小銃大砲ヲ發射セシニ十四拇十六拇二砲ノ如キハ著シキ効力ヲ顯ハシ其榴彈及ヒ機砲彈

丸ハ常ニ敵中ニ爆裂シ爲メニ敵兵其發砲ヲ怠ルニ依リ我カ兵勢ニ  
 乘シ砲門ヨリ突進シテ砲台ヲ占領シ之ニ我カ國旗ヲ掲ケタリ  
 スクノ如ク余カ端船ク十二拇砲及ヒ平船底ノ十四十六拇砲ヲ以テ  
 海濱ヲ掃除シ余ノ注意ヲ完フセルヲ以テ余ハ我カ兵ノ城牆近隣ノ  
 家屋ヲ攻撃スルニ援助シ次テ遊園地ニ通達スル道路ノ占領ニ助力  
 セリ該道路ハ今朝迄ハ閉塞シテ通行ヲ得サリキ午前九時我カ事業  
 全ク終レリ干潮ノ速ナル或ハ變事ノ出來センコト慮リ己ムヲ得ス  
 諸端船ヲ海峽ノ畔リニ廻シ海岸ヨリ一千米突ノ距離ニ於テ爪錨ヲ  
 投シ而シテ陸地ニ到リ此由テ艦長「マルケサック」氏ニ申告セリ然  
 ルニ兵員昨夜以來未タニ食事セサルヲ以テ午餐ヲ爲サシメ暫時休  
 憩ヲ與ヘタリ聽テ滿潮ト爲ルニ及テ錨ヲ揚ケテ午前少位置ニ復セ

リ時ニ上陸隊ノ乗船ニ助力ス可キヲ命セラレ再ヒ海岸ニ到リテ乘  
 船ノ措置ヲ畢リ其後「コロチル」ヂヤメイイス「氏ヨリ二隻ノ端船ヲ以  
 テ茲ニ警衛ス可キヲ囑セラレ終夜警衛セリ別ニ異事無シ

一千八百八十一年七月十九日「スハックス」碇泊「フライランド」號

艦上ニ於テ

「トリヨ」

「スハックス」略取ノ舉ハ我カ豪邁勇猛ナル士官水兵ノ大ナル名譽ナル  
 可シ抑、海岸ニ屯在セル敵ノ前面ニ於テ上陸センニハ幾多ノ艱難ト  
 幾多ノ危險トヲ經サルニ非ラサリシヨリハ實際成シ得可キノ業ニ非  
 ラス蓋シ司令長官ノ方略ノ聰明功妙ナリシト水兵ノ猛勇ナリシトハ  
 尙ホ感賞スルニ餘リ有リ且ツ我カ兵ノ損亡モ亦甚ダ多カラサリキ

「ケーブス」港占領ノ事

一千八百八十一年  
 七月二十四日

七月二十日「レオバル」號遠征艦隊司令長官ヨリ艦隊總艦及ヒ「ルバン」分艦隊ノ鉄裝艦二隻砲艦四隻ヲ以テ「ケーブス」ヲ回復ス可シトノ命令ヲ帶ヒ來ルニ依リ「ラガリソニール」號「レーヌ」ブランシユ「號」ボルナザウル「號」イエーヌ「號」レオバル「號」グラヂユエツウル「號」シヤカー「號」ノ七艦ハ七月二十三日「スハックス」錨地ヲ進發シ「テリーブル」號「ピクナ」號「アルマ」號ノ三艦ハ視察ノ爲メニ「スハックス」錨地ニ滯泊ス「翌拂曉」ケーブス前面ニ到着セリ艦各艦ハ可成の海岸ニ近接シテ投錨スルヤ否ヤ直ニ錨鎖ヲ斷テ其錨ヲ投棄スルノ準備ヲ爲シ且ツ艦側ヲ海濱ニ向ケテ其發砲ニ用意スルト同時ニ端船ノ軍裝ヲ整ヘ以テ海軍旅團ヲ乗組シメタリ

爰ニ陸地ノ景狀ヲ視察スルニ敵兵敢テ我ニ抵抗スルノ勢力無キ者ノ

如ク亞刺比亞人等ハ我カ艦隊ノ突然襲來セシニ驚キ曠地ニ聚合スルノ暇ヲ有セス唯周章狼狽ノ態ニテ諸方ヨリ「メンズル」邑ノ方位ニ馳到レリ同時ニ防戦ニ堪ヘザル所ノ老幼男女等ハ或ハ駱駝ヲ牽キ或ハ家具ヲ運搬シテ家屋ヲ立出テ恟々トシテ其兵災ヲ避ケントセリ

午前六時海軍旅團辛フシテ海岸ニ到達ス然レモ元來海岸ノ地勢甚タ惡シキニ依リ乾靴ヲ着シテ上陸スルヲ能ハス兵員皆水中ヲ徒涉シテ漸ク海岸ニ上陸セシカ幸ニシテ海面平滑ナルヲ以テ其不便甚タ大ナラザリシト雖モ同日後刻ニ至リテ風波烈シク起リ頗ル困難ヲ極メ終ニ本日夕刻ニ飯艦セントセシ上陸隊ノ乗船ニ阻碍ヲ告ケタリ抑「ケーブス」河ハ極メテ上陸ニ便利ナラス其河口ニハ一帶ノ沙洲有リテ之カ出入ヲ支ヘ満潮ノ時スラ最小ノ端船ニ非スンハ其出入自由ナラ

ス況ヤ干潮ノ時ニ於テオヤ又其左岸ハ森林鬱蒼トシテ最モ伏兵ヲ設クルニ適シ敵兵既ニ二門ノ大砲ヲ此森林中ニ備ヘタレモ此大砲ハ河口ニ碇泊セル「レオバル」號ニ早ヤ發見セラレ該艦發砲ノ爲メニハ恰モ好標的タルヲ免カレス敵兵忽チ之ヲ棄テ、敗走スルニヨリ艦長大尉「マラメ」氏直ニ之ヲ捕獲シタリ

扱テ海軍旅團ハ上陸中敵ニ砲撃ヲ受クルノ困難ヲ見ス容易ニ海岸ニ到着シ夫ヨリ隊伍ヲ整備シ數隊ヲ分テ「ケーブス」知事ノ邸第ニ進行セシニ其門戸極メテ堅牢閉塞セルヲ以テ勢之ヲ破毀シテ開カサルヲ得ス又其旅團ノ大部ハ特ニ戒嚴ヲ加ヘ能ク順序ヲ整ヘテ「メンズル」邑ニ向テ進軍セリ

爰ニ司令長官思惟スラク夫ノ知事邸第ヲ占領スルニハ到底大擧シテ

一撃ヲ加フルニ非スンハ今茲ニ服役スル小兵力ノ能ク成シ得ヘキ所ニ非ラス好シ假令ヒ一小戰ヲ試ムルモ終ニ敵兵ヲシテ恐怖セシムルニ足ラスト云フ「ルマン」分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏ハ海軍旅團指揮タル艦長「マルク」ド、サン、ヒレール」氏ニ命シ其旅團ヲ引率シテ「メンズル」邑ニ向テ進軍シ此ニ大觀威ヲ試ミ若シ敵兵ノ劇烈ナル抵抗無クンハ一擧シテ「メンズル」ヲ占領ス可シトナリ然レモ司令長官ハ之ニ反對シ遠ク海濱ヲ踰ヘテ内地ニ深入シ敵ノ部落ヲ占領スルカ如キハ固ヨリ得策ニ非ストシ固ク此說ヲ執テ動カサリキ

午前十時「メンズル」及ヒ「ドサラ」ノ外圍ニ臨ム敵ノ砲臺既ニ我カ兵ノ有ニ歸シ次ア此等邑落ノ大部モ亦我カ兵ノ占領スル所ト爲レリ叔ア前途ノ事タルヤ尙ホ遠ク内地ニ深入シテ戰ヒ且又不利ノ敗亡ニ軍兵

ナ戰野ニ暴露スルカ如キハ固ヨリ艦長「マルク、ド、サン、ビネール」氏ノ嫌惡スル所ナレハ氏ハ知事邸第二退軍ノ令ヲ下シ徐ロニ兵ヲ遣リ炎熱ヲ避ケテ知事邸第二回軍レケルカ此處ニ於テ安全ニ午食休憩ヲ與ヘテ海上風波ノ平穩ナルヲ待タシム此間ニ「メンズル」ノ砲臺俄然トシテ爆裂セリ

抑「ケーブス」上陸ノ艱難危險ナリシ「ハ」スハックス「占領ノ時ノ上陸ニ比スレハ尙ホ遙カニ及ハスト雖モ我軍ニ於テハ頗ル豪膽ヲ極メ最モ鍛鍊ヲ盡セリ左ニ掲記スルハ海軍旅團指揮タル艦長「マルク、ド、サン、ビネール」氏カ遠征艦隊司令長官ニ進呈サレタル所ノ報告ニ係ル

余ハ七月二十四日「メンズル」邑方面ニ於テ起リシ上陸ニ付左ノ報

## 告ヲ進呈ス

閣下余ニ命ズルニ「ケーブス」河右岸ニ上陸シ敢テ不要ノ危難ヲ需メス「メンズル」ニ進軍シテ一小戦ヲ試ミ然レ後兵ヲ回シテ知事邸第ヲ占領スルニ足ル可キ十分ノ兵隊ヲ陸上ニ滞留セシメ殘餘ノ兵員ヲ引率シテ歸艦ス可キヲ以テセラレタリ之ニ加フルニ又此交戦ニ付キテ閣下ノ余カ麾下ニ附屬セラレタル兵員ハ即チ鉄裝艦六艘通報艦二艘ノ小隊及ヒ砲兵其他「ラ、ガリソニール」號「レーヌ、ブランシユ」號「ホルナデウル」號三艦ノ小隊及ヒ砲兵等ニシテ此兵員都合一千一百人大砲十七門トス而シテ萬止ヲ得サル場合ニ至リテハ軍裝端船ノ發火ト軍艦ノ發砲トヲ以テ上陸隊ヲ掩護スヘシトナリ果シ余輩ノ豫期スル所ニ違ハス四百乃至五百ノ亞刺比亞兵ハ左方

ノ高地ニ群集シ府内及ヒ近傍邑落ニモ亦二千五百乃至一千人ノ歩  
 兵有リテ尙ホ其援兵ノ來ルヲ待ツ者ノ如シ  
 部署命令左翼ハ「マランゴ」號「シユルヴェヤント」號二艦ノ小隊ト  
 シ艦長「マレシヤール」氏之ヲ指揮シ氏ハ廣濶ナル平地ハ敵ノ騎兵  
 ナ受クルノ患有ルガ故ニ其翼面防守ノ職務ヲ任ス  
 中央即チ余カ陣地ハ「トリードン」號「コルベル」號「デゼー」號三艦ノ  
 小隊トシ大尉「ソユカス」之ヲ指揮シ此小隊ニハ小砲臺ノ占領及ヒ  
 中央市街ノ攻撃ヲ命ス  
 右翼ハ「ルヴァンシユ」號「フライラント」號「イロन्दル」號三艦ノ小  
 隊トシ大尉「テキシユ」氏之ヲ指揮シ氏ハ先ツ一着ニ知事邸第ヲ所  
 有シ次ニ「ドザラ」ヲ占領シ最後ニ「メンズル」ト「ドザラ」トノ境界ヲ

連結スル所ノ橋梁ニ防守シ而シテ右翼ヨリ「メンズル」市街ヲ攻撃  
 ス  
 艦長「クルナブロン」氏ハ「ラガリソニール」號「ボルナゲウル」號二  
 艦ノ小隊ヲ指揮シ知事邸第ニ屯在シテ「ケーアス」河ヲ守衛シ海濱  
 トノ交通ヲ絶タサルヲ務ム此河流ハ淺水ナルカ故ニ敵地何方ヨ  
 リモ徒涉シ得易キヲ以テナリ  
 「レーヌ」ブランシユ」號小隊ハ一般ノ援隊トシテ第一戰團線ノ背後  
 三百乃至四百米突ノ地點ニ位置ヲ占メ不意ノ事變ニ豫備ス  
 砲隊ハ各小隊ノ背後ニ於テ中央及ヒ兩翼ニ配置シ艦長「タバリニ  
 ー」氏之ヲ指揮ス  
 兵隊集合ノ場所ハ臨機ニ知事邸第若クハ小砲臺トス

繙帶所主管軍醫長「ギユ」氏ハ知事邸第二於テ可成的神速ニ治療事務ヲ開設ス

端船主管艦長「トリヨ」氏ハ先ツ其兵隊ヲ上陸セシメタル後各端船ヲ上陸所ノ右方ニ着ケ換ヘ再ヒ兵隊ノ乗船ノ便利ヲ計リテ能ク之ヲ保護スルヲ務ム

各艦ハ投錨スルヤ否ヤ直ニ其端船ニ軍裝シテ上陸ニ掛リシカ一彈ヲモ放タズシテ午前六時十五分其上陸ヲ遂ゲタリ然ルニ海濱ニ一ニ荒廢シ大形端船ノ如キハ五十米突ヨリ少シモ海濱ニ近接スルヲ能ハサリシヲ以テ止テ得ス鯨獵船ヲ其渡船ニ充テシカトモ其急ニ上陸セント欲スル者ハ水中ヲ步涉シテ海岸ニ到着シ此處ニ隊伍ヲ整備シ上記ノ部署命令ニ從テ進軍セリ時ニ近傍丘陵ニ夥多騎兵

ノ運動ヲ認メタリ地質砂多クシテ車輪ヲ没シ砲兵甚ク進行ニ苦シム依リテ小隊兵員ヲシテ之レニ助勢セシメ聽テ知事邸第三進行シケンハ邸第八既ニ廢棄セラレテ更ニ軍備無キヨリ些少ノ困難ヲ見ス容易ニ之ヲ占領スルヲ得タリ

余輩砲台ヲ距ル大約一千米突ノ地點ニ進達セシヤ榴彈數發ヲ發射セシメ又發銃ヲ試ミタレモ敵兵更ニ應砲スルノ色無ク其後砲台ニ於テ今既ニ發射シタル計リノ大砲在ルヲ發見セシカモ最初ニハ其砲台ヨリ發射セシヤ否ヤ更ニ分明ナラザリシ其後數分時ヲ經テ砲台門上ニ白旗ノ繖ヘルヲ見直ニ兵員ヲ發遣シテ其砲台ヲ占領セシメ敵兵二十人ヲ捕獲シテ之ヲ艦上ニ護送セリ然ルニ言語不通何人種タルヲ知ルニ由無ク後ニ至リテ突尼斯人タルヲ判然セリ而シテ

武器火藥ハ悉ク之ヲ破毀シ大砲ハ溝渠内ニ投入シテ之ニ釘セリ  
 抑此砲台ノ構造タルヤ甚ダ脆弱ナリシト雖モ早晚我カ兵ノ有用  
 ノ時アル可キヲ慮リテ敢テ之ヲ破毀スルヲ無ク依然トシテ此ニ存  
 在セリ  
 右翼ハ「トザラ」ニ於テ聊カ敵兵ヲ抵抗ニ出逢ヒ民家數軒ヲ占領ス  
 時ニ中央ハ「メンズル」市街ノ攻撃ニ掛リ其砲台銃手ハ家屋中ニ潛  
 伏セル所ノ亞刺比亞兵ト烈シク彈丸ヲ交ヘタルカ此等家屋ニハ其  
 周圍ニ銃眼ヲ穿テ敵兵之ヨリ頻ニ發火セリ叔テ右翼兵ハ益々進テ  
 「トザラ」ニ號「ヨル」ニ號シ小隊ノ戰團線ニ進達シ銃鎗攻撃ヲ試  
 シ諸道ヨリ市中ニ突進セシニ敵兵既ニ欄柵ヲ諸方ニ構ヘテ通路ヲ  
 閉塞セシヲ以テ水雷隊ハ直ニ水雷ヲ爆裂シテ悉ク之ヲ破毀ス

リ時ニ「フライラシド」號ノ兵員モ亦右翼ヨリ市中ニ進入ス左翼ハ  
 固ク其命令ヲ遵奉シテ市街ノ左方ニ其兵ヲ配置シ退去スル所ノ敵  
 兵ニ向テ頻ニ發火シ又市中處々ニ於テ騎兵トノ接戦アリ我カ兵ノ  
 負傷八名其内二名ハ重傷ナリキ此激戦後十五分ヲ經テ余輩全ク  
 「メンズル」ヲ占領シ二個所ノ回々教寺院内ニ於テ我カ營所ヲ設ケ  
 此處ニ赤旗青旗數流有ルヲ發見ス次テ土耳其裁判官ノ家宅及ヒ電  
 信局ヲ占有セシカ亞刺比亞兵ハ諸方ニ散亂シ其騎兵ノ如キハ左方  
 ニ逃走セシナラン  
 余輩ハ固ヨリ「メンズル」市城ヲ占領スルヲ企圖セサリシヲ以テ  
 敢テ又敵兵ヲ城外ニ追撃スルヲ要セス抑、軍兵ヲ内地ニ長驅深  
 入セシムルヲハ余カ固ヨリ望サル所ナリ蓋シ之ヲ長驅深入セシム



武器火藥等類悉數擄獲其美而金銀等物亦搜不遺其後天旬五日  
抑此砲台之構造甚為堅固其砲口之徑亦甚大且其砲身之厚亦甚  
當時又聞可謂之敵軍之敗退其後無一兵一卒存  
在者其後之情形亦甚為慘痛其後之情形亦甚為慘痛  
右翼隊之兵士亦於其時被敵兵之抵抗而受傷者甚多其後亦佔領其  
時由中央之砲台發射之砲彈其後亦佔領其  
伏兵隊之兵士亦於其時被敵兵之抵抗而受傷者甚多其後亦佔領其  
周圍之砲台亦於其時被敵兵之抵抗而受傷者甚多其後亦佔領其  
諸道之兵士亦於其時被敵兵之抵抗而受傷者甚多其後亦佔領其  
聞此砲台之構造甚為堅固其砲口之徑亦甚大且其砲身之厚亦甚

時ニ「フライラジド」號ノ兵員モ亦右翼ヨリ市中ニ進入ス左翼ハ  
固ク其命令ヲ遵奉シテ市街ノ左方ニ其兵ヲ配置シ退去スル所ヲ敵  
兵ニ向テ頻ニ發火シ又市中處々ニ於テ騎兵トシテ接戦アリ我カ兵ノ  
負傷八名其内二名ハ重傷ナリキ此激戦後十五分ヲ經テ余輩全ク  
「メンズル」ヲ占領シ二個所ノ回々教寺院内ニ於テ我カ營所ヲ設ケ  
此處ニ赤旗青旗數流有ルヲ發見ス次テ土耳其裁判官ノ家宅及ヒ電  
信局ヲ占有セシカ亞刺比亞兵ハ諸方ニ散亂シ其騎兵ノ如キハ左方  
ニ逃走セシナラン  
余輩ハ固ヨリ「メンズル」市城ヲ占領スルヲ企圖セサリシヲ以テ  
敢テ又敵兵ヲ城外ニ追撃スルヲ要セス抑、軍兵ヲ内地ニ長驅深  
入セシムルヲハ余カ固ヨリ望サル所ナリ蓋シ之ヲ長驅深入セシム

ル中ハ再ヒ之ヲ集合スルノ困難ト負傷者ヲ綑帶所ニ運搬スルノ煩  
雜トヲ惹キ起スノミナラス敵ノ騎兵カ我カ背後平野ニ於テ我カ兵  
ノ歸途ヲ絶ツノ恐レ有ルヲ以テ之故ニ暫ラク堅固ニ我カ位置ヲ維  
持シテ敢テ一步モ進行セザリキ

炎熱炙ルカ如ク「ル、ヴァンシユ」號少尉「アモタル」ハ暑氣ニ中リシ  
カモ幸ニシテ劇症ニ至ラザリキ九時四十五分余輩「メンズル」ヲ出  
テ兵ヲ回ヘス回軍ノ順序總テ進軍ノ時ニ同シ扱テ回軍中ハ亞刺比  
亞兵敢テ我カ進行ヲ妨ケス余輩カ稍「メンズル」ヲ隔タリタル比ヒ  
ニ敵ノ騎兵カ其市街ニ乘入ルヲ認メタリ正午知事邸第ヲ占有シ門  
外ニ守衛兵ヲ配置シ餘兵ハ可成的邸内涼蔭ニ休憩セシメ大艇ニテ  
輸送シタル所ノ葡萄酒ヲ以テ之ニ備シ而シテ「ヴァンシユ」號

ヴァンシユ「號」艦ノ小隊及ヒ砲隊（野砲六門）ヲ分遣シ要地ニ配  
置シテ其守衛ヲ嚴ニセリ扱テ亞刺比亞兵ハ砲隊ヲ有セザルニ依リ  
是ヲ以テ完全ナル保護ナル可シ  
斯ノ如ク知事邸第ハ忽チ防禦ノ位置ヲ占メ其周圍ニ在リテ敵ノ前  
進ヲ遮蔽スル所ノ物ハ悉ク皆之ヲ芟除シ空曠ノ地ニハ欄柵ヲ構ヘ  
テ其通路ヲ閉塞シ高台胸壁ニハ野砲六門ヲ備裝セシカ聽テ午後二  
時頃ニ至リ亞刺比亞兵前ニ回復セル所ノ砲台ヨリ頻ニ榴彈ヲ發射  
スルヲ以テ我カ兵之ヲ驅逐スルハ姑ク置キ專ラ照準ヲ整ヘテ彼ノ  
砲台ノ堅固ナルヲ試シ交戦數分時ヲ移シテ砲台忽チ爆裂ス是レ  
我カ榴彈ノ効驗ニ因ル乎將テ敵兵ノ不注意ヨリ起リシ乎更ニ分明  
ナラスト雖モ此時砲台内ニ多勢ノ敵兵在ルヲ以テ視レハ必ス我カ

榴彈ノ破裂ニ因リシ者ナラン  
 艦長「トリヨ」氏海上風波起リシ爲メニ端船發着ノ困難ナルヲ報告  
 セルヲ以テ余ハ直ニ充分ノ乗船措置ヲ爲シ先ツ一着ニ負傷者ヲ艦  
 上ニ運搬シ次ニ「ルバン」分艦隊ノ小隊ヲ運搬セシカ既ニ此小隊ノ  
 半ハ短船ニ乗組ムノ際同小隊ヲ以テ可成的占領ノ方法ヲ取ルヘシ  
 トノ命令アリ故ニ即之ヲ上陸セシメ更ニ命令アルヲ待チシニ漸ク  
 五時ニ及テ艦隊小隊ヲ各其艦ニ歸ラシメ「ルバン」分艦隊小隊ヲ陸  
 上ニ滞留セシムヘシトノ命令ニ付キ即チ分艦隊小隊ヲ知事邸第二  
 回ヘシ之カ邸第二入ルヤ否ヤ余ハ直ニ最後四小隊ヲ引率シテ歸艦  
 ノ途ニ就ケリ「シユルヴェヤント」號「アラシ」號及ヒ通報艦ノ小隊  
 ハ前既ニ各其艦上ニ回送セラレ夫ヨリ兵員運送ニ掛リシカ乗船

頗ル困難ヲ極メ海濱ヲ距ル一百米突ノ處ハ怒濤山ヲ爲シ大形端船  
 ノ如キハ是ヨリ毫モ海濱ニ近クシテ能ハズシテ鯨獵船モ亦稍海  
 濱ヲ隔テリ然レモ漸ク辛クシテ軍用品ノ積載ヲ處辨セシカ兵員ノ  
 如キハ止チ得ヌ各自裸体ニ爲リテ其衣服兵器等ハ之ヲ銃鎗ニ掛ケ  
 テ漸ク鯨獵船ニ到達レ之ヨリ太形端船ニ護送セラレ此間怒濤ヲ被  
 ムリシ者夥多アリシト雖モ幸ニシテ一人ノ損傷ヲ受ケシ者無シ  
 一千八百八十一年七月二十五日「ケーブス」河畔碇泊コルベル號  
 艦上ニ於テ  
 「マルク」ド「サン」ホ「ロー」ル  
 「メンズル」及ヒ「ドザラ」ニ於テ我カ水兵ハ敵ノ激烈ナル抵抗ニ出逢フ  
 タレモ是レ畢竟彼ノ剛膽ナルニ因ルニ非ラズ寧ロ彼ノ狂妄ノ致ス所  
 ナラン又我カ軍ノ損亡ノ輕キハ職トシテ作戦ノ謹慎ナリシト指揮官

ノ賢明ナリシト水兵ノ訓練ナリシトニ之レ由ラサルハ無シ  
七月二十六日艦隊「ゴレタ」ニ向テ出發ノ途次「メヘデア」「モナストル」  
及ビ「スース」ノ諸港灣ニ寄航シ次テ「ゴレタ」ニ着セリ是ヨリ「ボン」ビ  
セルト」ニ廻航シ再ビ「ボン」ニ歸リ又「アルシリヤ」ヲ經テ土倫ニ歸着  
セリ

「ゼルバ」島占領之事 一千八百八十一年  
七月二十八日

佛領南東海岸ノ保護ヲ安全ニセントノ方畧ヲ全フセンニハ即チ「ゼ  
ルバ」島ヲ占領スルノ一事有リレヲ以テ「ルパン」分艦隊司令官海軍少  
將「コンラー」氏ハ七月二十七日二十八日ノ兩夜ヲ以テ「ゼルバ」島ノ首  
府「ホーム、ソウク」ヲ占領セリ左ニ掲記セルハ氏カ海軍大臣ニ進呈サ  
レタル所ノ報告ニ係ル

余ハ「コロチル」「ヂヤノイス」氏ノ指揮セル遠征軍ノ一部ヲ以テ今夜

「ゼルバ」島ノ首府「ホーム、ソウク」ノ占領ヲ氏ニ命ゼリ氏カ軍事上ノ  
位置ハ敵ノ攻撃ニ對シテ甚タ安全ナル可シ余ハ「スハックス」ヨリ  
「イントレビート」號ノ歩兵一大隊ト砲兵ノ一部隊トヲ積載シテ來  
着スルヲ待ツ而シテ我カ兵ノ陸地ニ連結スル淺瀬ニ臨ム所ノ砲台  
ヲ占領スルニ於テハ容易ニ敵兵ノ襲來ヲ防止シ得ケレハ最早亞  
刺比亞兵侵襲ノ恐レ無シ余輩カ全島ヲ掌握シ得ルハ蓋シ近キニ在  
ル可シ

諸軍艦ハ海岸ヲ距ル十海里ノ處ニ碇泊シ常ニ怒浪強風ノ難ヲ免レ  
ス殊ニ夜間上陸ニハ極メテ困難ヲ覺ヘタリ其他異變無シ「オワー  
ス號及ヒ」トロンブル號我ガ上陸ヲ助ケ殊ニ「オワース」號ノ大艇

ノ助力ヲ得テ全軍一時ニ上陸スルヲ得タリ

一千八百八十一年七月二十八日「ゼルバ」島ニ於テ

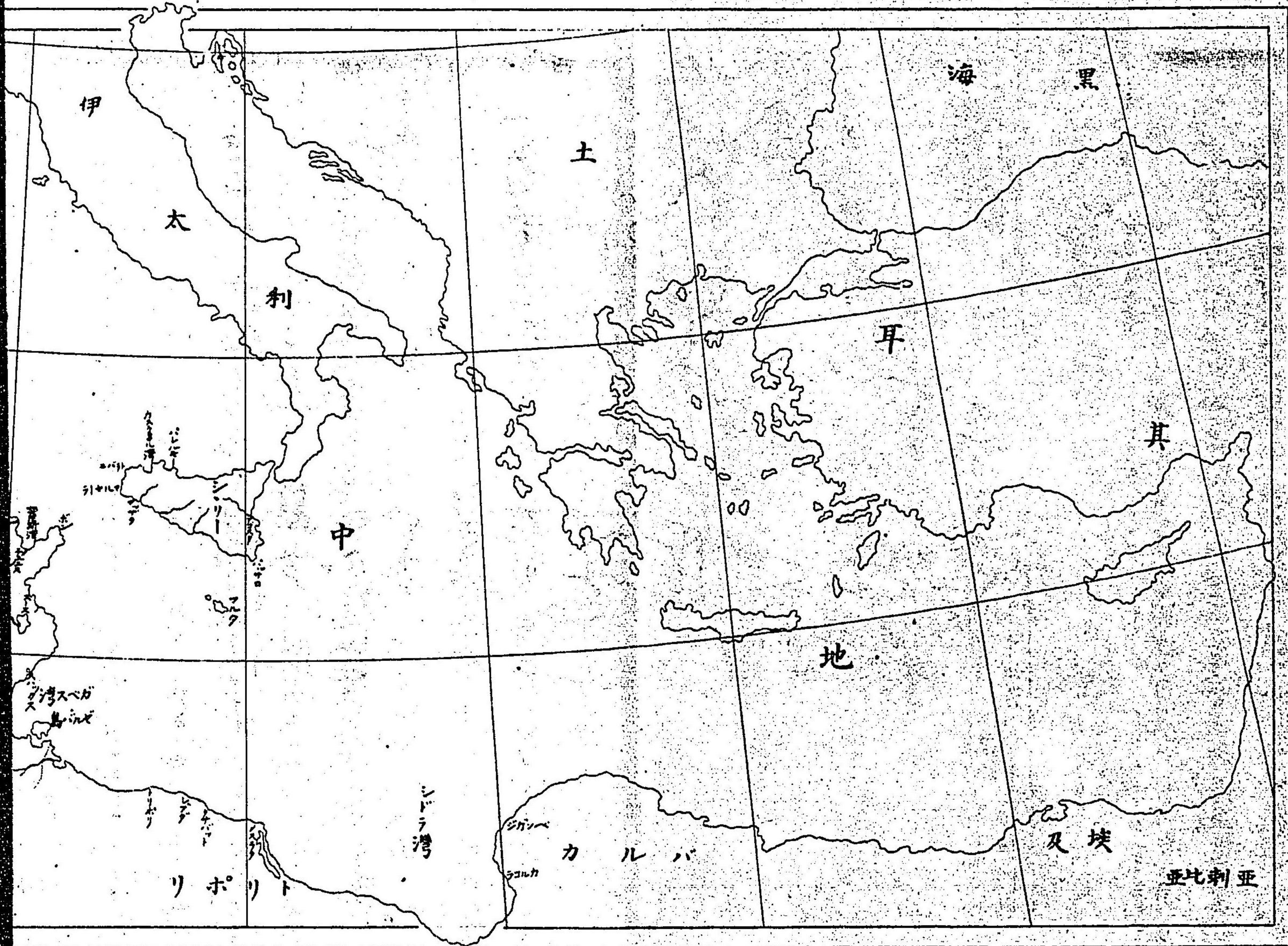
「コンラー」

「スース」占領ノ事 一千八百八十一年  
九月十一日

「スース」占領ノ議既ニ決定シタルヲ以テ大西洋汽船會社汽船「アチヤ  
シオ」號「クールベ」號ニハ一千五百人ノ兵員ヲ積載シ同時ニ「タン  
號ニハ」アトミニストレーナフ、セルヅサス」兵員及ヒ砲兵一大隊ヲ乘  
セ「スース」ニ向テ出發ス可キヲ指定セラル「アルマ」號「ラ、ガリソニ  
ル」號ノ二艦ハ「ルバン」分艦隊司令官海軍少將「コンラー」氏之ヲ指揮  
シテ右運送船ヲ護送シ及ヒ其上陸ヲ擁護スベキノ命ヲ受ケ九月九日  
午後ヲ以テ土倫ヲ出發セリ翌十日午前六時ニ至リテ「アチヤシオ」號

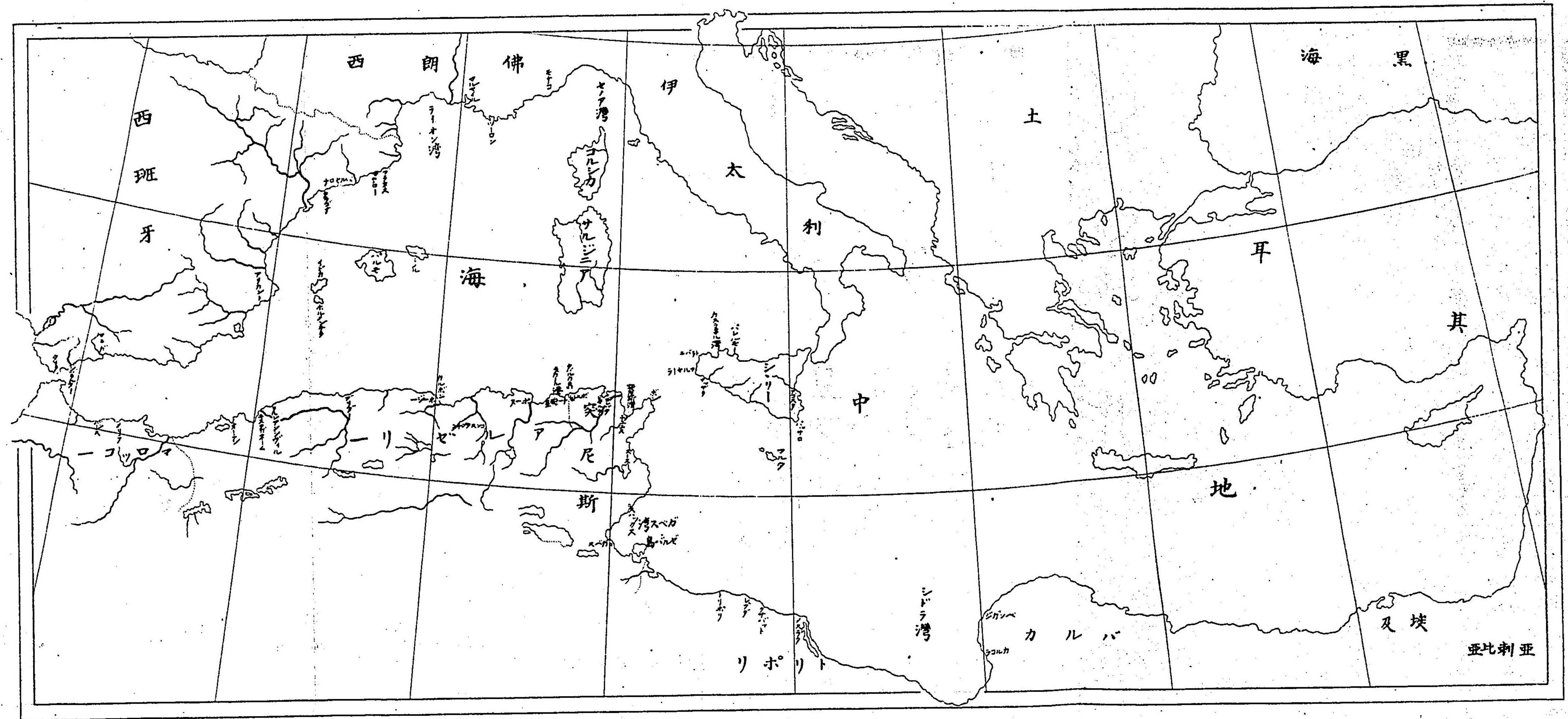
「クールベ」號「スース」泊地ニ投錨ス夫ヨリ一時三十分ヲ過ギシモ艦  
隊未タ到着セサリシヲ以テ直ニ「スース」降服ニ係ルノ商議ニ着手セ  
リ爰ニ非常ノ抵抗有ラントハ余輩ノ豫期セシ所ナリシカ大ニ之ニ反  
シテ「スース」司令官ハ特ニ勸和任從ノ意志ヲ表シ甘シテ其城塞要處  
ヲ開放セシハ蓋シ我カ砲撃ヲ恐レテナラン是ニ於テ直ニ上陸ニ掛リ  
「アルマ」號ノ端船ヲ以テ「アチヤシオ」號ニ乗組タル兵隊ニ「ラ、ガリソ  
ニール」號ノ端船ヲ「クールベ」號ノ兵隊ニ向ケテ發見シ其後二時間  
ヲ經シ頃ハ「ベ」ノ國旗ニ換フルニ佛ノ國旗ヲ以テシ城塞到ル處翻  
縦セサルハ無シ扱テ海軍最後ノ交戦ハ斯クテ此單一ナル占領ニ終ル

4/36



突尼斯遠征紀畧 大尾

一



突尼斯遠征紀畧 大尾

